

外國爲督管理法改正法律案特別委員會議事速記錄第二號

昭和十六年二月二十一日(金曜日)午前十時九分開會

○委員長(男爵深尾隆太郎君) ソレデハ是カラ開會致シマス、御審議ハ、法案ノ順序ニ

ニ對スル質疑ヲ御願ヒ致シマス、尙機密ニ
瓦ルコトガアリマシタナラバ、速記ヲ停止
スル程度デ進メタラ如何カト思ヒマスガ、
若シ政府カラ祕密會ノ要求デモアリマシタ
ナラバ、祕密會ヲ開クコトニ致シタイト思
ヒマス

○子爵墨林友光君　外國爲替管理法改正法
律案ヲズット拜見致シマスト、此ノ法ノ改正
ハ、今迄ノ外國爲替管理法ト比較シテ見ル
ト、非常ニ責極内ニツツ居レ所ガアリマス、

就中第三條ノ如キハ、劃期的ノ改正ダラウ
ト思フノデゴザイマス、從來ハ皆消極的ノ
態度ヲ執ツテ居ッタ、處ガ今度ノ改正案ニ於
テ積極的ノヤウナ規定ニサレタノデアリマ
ス、サウシテ之ニ依リマスルト、政府ノ管
理ニ移ツテ、サウシテ賣却スルコトヲ命ズル
コトガ出来ルシ、場合ニ依ツテ其ノ賣却ノ價
格ハ政府之ヲ定ムト云フ風ニナツテ居リマ
ス、斯カル規定ノ爲ニ其ノ關係者ガ損害ヲ
蒙ルト云フヤウナコトガアリハシナイダラ
ウカト云フコトヲ心配スルモノデゴザイマ
スガ、其ノ點ニ付テハ如何デゴザイマスカ

○政府委員(廣瀬豊作君) 裏松子爵ノ御質問ハ誠ニ御尤モデゴザイマシテ、仰セノ通り第三條ノ規定ハ他ノ條文ガ消極的デアリ

マスルニ對シマシテ積極的ナ規定テアリ

ノハ、最近ノ國際情勢カラ致シマシテ、必
要ナ場合ニ於テハ、我ガ國家トシテノ利益ヲ

ウシテモ此ノ程度ノ規定ヲ必要トスルニ至
リマシタノデ、從前カラモ或程度ノ規定ハ
アツタノデアリマスルケレドモ、今後ニ於テ
ハ第三條ハ益々活用セラルベキ運命ニナッテ
居ルノデアリマス、從ヒマシテ只今裏松子
爵カラモ御懸念ガアリマシタヤウニ、此ノ

法律ニ依リマシテ命令ヲ發スルダケデハ、時ニ依リマシテハ、爲替ヲ取扱ッテ居リマス。銀行又ハ其ノ爲替ニ關係シテ居リマス個人ニ於テ賈夫ヲ蒙レト云フ臺ガ多分ニアレノ

デゴザイマス、之ニ付キマシテハ別途十六
年度ノ追加豫算ニ於キマシテ輸出爲替ノ補
償ト致シマシテ四億數千萬圓、又爲替補償ト
致シマシテ五億圓ノ豫算外契約ヲ政府ニ於
テ締結スルコトヲ得ルト云フ制度ヲ打建テ
マシテ、一方ニ於テハ政府ガ命令ヲ發シマ
スト同時ニ、其ノ命令ニ依クテ損失ヲ蒙リマ
シタ場合ニ於キマシテハ、其ノ蒙ルベキ損
失ニ對シテ適當ノ前後措置ヲ講ズルト云フ
コトニ致シタイト思ツテ、今議會ニ右ノ豫算
外契約ノ件ニ付キマシテモ御協贊ヲ仰イデ
居ル次第デアリマス

○子爵裏松友光君　只今御説明ニ依ツテ損害ニ對シテハ補償ノ制度ヲ設ケルヤウニ計畫シテ居ル、豫算外國庫ノ支出ニ於テソレ

ヲ認メテ約五億ノ程度=於テ之ヲシヨウトシテ居ルト云フヤウナ御説明デゴザイマシ

タガ、其ノ約五億ト云フノハドウ云フ根據ノモノデアリマスカ

○政府委員(原口武夫君)　此ノ五億ノ根據
デゴザイマスガ、私共此ノ計數ヲ定メマシタ
タ場合ニハ、ドウ云フ種類ノ損失ガドウ云
フ形ニ於キマシテ今後生ズルデアラウカ、
斯ウ云フ點ニ付キマシテ段々研究ヲ致シマ
シテ、大體ソレ等ノ項目ニ付キマシテ過去
ニ於キマスル取引ノ實際カラドノ程度ノモ
ニナルカ、斯ウ云フ見通シヲ付ケマシタ

次第デゴザイマス、先ツ只今申上マシタ
外國爲替損失補償金ニ依ツテ、如何ナル
種類ノ損失ヲ豫見シテ居ルカト云フ
自上デマヌレト、實ハ七十員扶養ノ利

ナラバ如何ナル場合ヲ豫想セラルカト申シマスルト、輸出補償制度ト云フノハ、御承知ノ通り輸出手形ヲ銀行ニ賣リマシテ、

サウシテ其ノ手形が落チル迄ノ間ニ起リマスル様々ノ危険、ソレニ依ツテ生ジマスル故

障ト云フモノヲ「カヴァー」スル、サウシテ安心シテ輸出業者ニ輸出ヲナセレ、斯ウ云

外カラ輸出ノ引合ヒガ参リマスルト、第二
ニ輸出業者ト云フモノハ、多クノ場合、爲
替ノ豫約ヲ致シマシテ、爲替ノ相場カラ來
ル危險ト云フモノヲ「カヴァー」スルコトガ
通例ニナツテ居リマス、左様ナ場合ニ於キマ
シテ、後日其ノ豫約ヲ履行シマスル場合ニ、
或ハ出ルベキ荷物ガ出シ得ナカツタ、或ハ豫

約ヲ履行スル場合ニ、爲替相場ガ而モ變動ガアタ、荷物ハ出ナイ、爲替相場ハ違ツテ居ル、斯ウ云フ實例ハ昨年モザイマシタ、左様ナ易今ニキヤマンテ、餘出業者ナリ哉

ハ爲替銀行ノ損失ヲ補填スル、斯ウ云フヨ
トハ今日ノ輸出補償ノ制度デハ及バヌコト
ニナツテ居リマス、左様ナ點ヲ補フト云フコ
トガゴザイマス、尙又手形ハ支障ナク決裁
サレマシテモ、銀行ガ受取りマシタ外貨資
金ニ付キマシテ、或ハ相手國ノ爲替管理ノ
關係、戰爭其ノ他不慮ノ事故ニ依リマシテ、
資金ガ封鎖セラレルト云フヤウナ場合モ豫
想致サレマス、左様ナコトモ今日ノ輸出補
償ノ制度デハ「カヴァー」シ得ザル分野トナツ
テ居リマス、ソレ等モ此ノ五億圓デ「カ
ヴァー」致シタイ、斯ウ思ツテ居リマス、ソレカ

ラモウ一つ、是へ輸出補償制度トハ全ク別個ノ分野ニ屬シマスルガ、色々海外デ本邦人ガ事業ヲヤツテ居リマス、其ノ結果、本邦側

ノ海外財産、外貨資金ト云フモノガ各方面ニ
國際情勢ガ不安ニナッテ參リマスルト、ソレ
等ノ保全活用ト云フコトニ付キマシテ、色
色ノ形ニ於キマシテ故障ガ起^ツテ參リマス、
左様ナ點モ、一ツ此ノ補償金制度デ政府ガ
或程度危険ハ負擔スル、斯ウ云フ仕組ヲ作
リマシテ、サシテ海外ニ於テ活動シテ居リ
マス在外邦人ヲシテ、此ノ不安ナル空氣ノ
中^ズ安心シテ海外發展ニ從事セシメルマア
斯ウ云フ所ヲ一つ狙^ツテ居リマス、ソレカラ
先程大藏次官カラ申上^ゲマシタ點ニ付キマ
シテ、チヨット技術的ノ點デ補足シテ申上^ゲ
マスルガ、改正法案ノ第三條、是ハ現行法
ノ第四條ニ相當致シマス確カ御手許ニ差上
ゲテアリマスガ、新舊ノ條文ノ對照ヲ差上
ゲテアルト存ジマスルガ、此ノ現行法ニ於
ルコトニナッテ居リマス、處ガ左様ナ場合ノ
キマシテハ、第四條ニ依リマシテ大體改正
ノ第三條ト同ジャウナ命令ヲ政府ハ出シ得
賣却價格ト云フモノノ決定ハ、是ハ大藏大
臣ニ權限ハゴザイマセヌ、外貨評價委員會
ト云フ所デ是ハ決メルト云フ仕組ニナッテ
居リマス、ソレヲ今回ハ只今裏松子爵カラ
御話ノヤウニ政府ガ之ヲ決メル、但シ其ノ
場合ニ於キマシテ外國爲替管理委員會ニ諸
問致シマシテ、政府ガ之ヲ決メル、斯ウ云
フ仕組ニナッテ居リマスルノデ、其ノ點ニ於
キマシテ御話ノヤウニ現行法ヨリモ一段ト
統制ガ強化サレルト云フ點ガ一點ゴザイマ
ス、然ルニ現行法ニ於キマシテハ只今申上
ゲマシタヤウナ五億圓ノ損失補償、斯ウ云
シテ斯様ナ損失補償ノ制度ヲ他方ニ新タニ

○子爵裏松友光君 只今御述ニナリマシタ
政府當局ノ御説明、能ク了承致シマシタ、
付キマシテハ更ニ御伺ヒ致シマスガ、萬一
米國デ資金凍結令ト云フヤウナモノガ發布
サレルト云フヤウナ御見込デゴザイマセウカ、
ルト云フヤウナ御見込デゴザイマセウカ、
其ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス
○政府委員(原口武夫君) 今日傳ヘラレテ
居リマスル米國ノ資金凍結令、斯ウ云フモ
ノガ果シテ發動サレマスルカ、如何デアリ
マスルカ、尙又發動サレルト致シマシテ如
何ナル形ニ於キマシテ我ガ國ノ外貨資金ナ
リ、海外財產ニ影響ヲ及シマスルカ、左様
ナ點ニ於キマシテノ見透シガナカヽ、今日
付キ兼ネテ居リマスガ、私共現在想像シテ
居リマスル所、殊ニ御承知ノ通リアノ國ノ
凍結令ハ我ガ國ニハ發動サレテ居リマセヌ
ガ、「ヨーロッパ」各國ニ對シテ、十箇國程
ニ對シテ今日既ニ發動ヲ見テ居リマス、左
様ナ實例カラ類推致シマシテ略、想察致サル
ル所デハ、今回ノ損失補償金ニ依リマシテ
我ガ國ノ海外ノ權益ト云フモノモ保全スル
コトガ出來ルト、斯様ナ考ヲ持ツテ居リマス
○子爵裏松友光君 外國人ノ本邦内ニ於ケ
ル所ノ財產ノ取得又ハ處分ヲ取締ル結果ト
致シマシテ、本邦人ガ在外正貨ヲ持ツテ居ル
場合ニ、サウ云フ國カラ報復的ニ何カ措置
ヲ講ゼラレルヤウナコトハナカラウカト思
フノデスガ、其ノ點ニ付テハ心配ハゴザイ
マヌカ

當致スマノト存ジマス、是ハ全ク從來ゴザ
人關係ノ本邦内ニ於ケル國內取引ニ付テ或
種ノ統制ヲ加ヘル、斯ウ云フコトニナツテ居
リマス、從ヒマシテ只今御懸念ノ斯様ナコ
トヲヤルト云フ、報復的ト申シマスカ、相
互的ト申シマスカ、海外ニ持ツテ居リマスル
本邦人關係ノ財產ニ付テ、相手國カラ同ジ
ヤウナ措置ヲ講ゼラレル懸念ハナイカ、斯
ウ云フ御心配ノヤウニ承リマシタガ、實ハ
此ノ本改正案ノ趣旨ハ、左様ナ相手國カラ
受ケマシタコトニ對スル報復的措置ヲ講ズ
ル、斯ウ云フ意圖ガ主ニナツテ居リマセヌ、
況ヤソレニ依リマシテ相手國ヲ刺戟致シマ
シテ、却テ我ガ國ノ財產ニ不利ナル影響ヲ
齎ス、斯様ナコトモ毛頭考ヘテ居リマセヌ、
是ガ運用ニ當ツテハ左様ナ事態ヲ惹キ起サ
ナイヤウニ、慎重ニ考慮ヲ拂フベキモノト
思ツテ居リマス、左様デアリマスレバ、ドウ
シテ斯ウ云フ規定ヲ置イタカト申シマスル
ト、實ハ此ノ規定ニ依リマシテ、我ガ國ト
シテモ萬一ノ場合ニハ、斯様ナ措置ヲ講ジ
得ル態勢ハ整ヘテ置ク、斯ウ云フ姿勢ヲ取
リマシテ、サウシテ今日ノ國際不安ノ狀況
ノ下ニ、海外ニ於キマスル本邦側財產ト云
フモノニ對シテ、相手國ガ非友誼の行爲ニ
出マセヌヤウニ、未然ニ、事前ニ事ヲ防止
スル、斯ウ云フ趣旨ガ一番大キナ狙ヒ所ニ
實ハナツテ居リマス、序ナガラ申上ダマスル
ガ、斯様ナ規定ハ「アメリカ」トカ、外ノ國
國ノ爲替管理ニモ段々昨今出テ參ツテ居リ
マス、之ヲ實際運用致シマスル場合ニ、十
分注意ヲ致シタイト存ジテ居リマス

○政府委員(原口武夫君)　只今御指摘ノ點
ハ主トシテ此ノ改正案ノ第一條ノ四號、五
號、六號、斯様ナ各號ニ關係シテ居リマス、
實ハ從來ノ爲替管理ノ仕組ト申シマスルカ、
建前ト申シマスルカ、我方國ト外國トノ間
ノ様々ノ資金ノ出入リト云フモノヲ外國爲
替銀行ト云フ經路ニ追込ミマシテ、ソレヲ
太イ綱ト致シマシテ、政府デ外國爲替銀行
ヲ通ジテ、色々ノ統制ヲスルト云フ仕組ニ
ナッテ居リマス、處ガ段々ト外國ニ對スル送
金其ノ他ガ窮屈ニナッテ參リマスルト、鬼角
爲替銀行ヲ通ジマセヌデ、或ヘ海外ノ商社、
個人、友人ト聯絡ヲ取リマシテ、銀行ヲ通
ジマセヌデ、話合デ色々ノ取引行爲ガ行ハ
レルノデアリマシテ、其ノ結果爲替管理ノ
趣旨ニ悖ル事態ガ、實地検査其ノ他デ屢々發
見サレルヤウニナッテ參リマシタ、ソコデ左
様ナコトヲ防ギマス爲ニ、第四號、第五號
第六號ト云フモノヲ設ケタ次第デアリマス
ガ、御尋ネノ海外ト内地トノ間ノ相互計算勘
定ト申シマスルカ、相殺勘定ト申シマスル
カ、左様ナモノハ今日外國デ仕事ヲシテ居
リマス商賣人へ商社ハモウ殆ド取引ノ勘定
トシテ廣ク使ツテ居リマス、左様ナモノニ付
キマシテ、而モ得ル所ハ、是ハ皆正常ノ取
引ニ基イテ致シマスノデアリマスカラ、却
テ少イト云フコトニナリマスノデ、只今御
指摘ノ相互計算勘定ニ付キマシテハ、各商
社或ヘ船會社、保險會社、是等ニ付キマシ
ハドウナリマスカ

非常ニ煩瑣ナ條件ガアツト思フノデアリ
ベキ色々ノ状況ニ依ッテ、其ノ條件ガ遵守出
來ナイヤウナ場合モ實際問題トシテハ幾多
起ルノデアリマス、今御話ノアリマシタ軍
機保護法ト云フ御話デアリマスガ、軍機保
護法ノ先例ニ依ッテ爲替管理法ノ罰則ヲ擴
張サレルト云フコトハ、果シテ妥當デアラ
ウカドウカト云フコトモ大イニ疑ヒガアル
ヤウニモ思ヒマスガ、此ノ條件ヲ今御話ノ
アリマシタヤウナ大キナ條件ヲ明確ニサレ
ルト云フコトデアルナラバ、ソレハ或ハ實
行ガ出來ルカトモ思フノデアリマスガ、其
ノ條件カ條件デナイカト云フ所、實際問
題トシテ爲替局ノ希望ニ屬スル分モアルカ
ト思フノデアリマス、ソレデ爲替局ノ希望
ニ屬スル分ガ此ノ處分ニ附シタ條件ト錯雜
スルヤウナコトデアルト、實際問題トシテ
モ此ノ貿易業者ガ非常ナ不安ヲ感ジル點ガ
アルト思フノデアリマスカラ、其ノ點ニ付
テハ、一ツ實行上十分御考ヘラ願ヒタイト
云フコトヲ希望致シテ置キマス

○政府委員（廣瀬豐作君）此ノ點ハ相當御議論ガアルコトト思ヒマス、併シ政府ノ考ヘト致シマシテハ、不動產融資ニ關スル現行法ト云フモノハ、是ハ大體臨時立法的ナ性質ヲ持ツテ居リマシテ、期限ヲ附シテアルノデアリマス、併シナガラアノ當時ノ立法ノ時ニ趣旨ヲ述ベラレマシタヤウニ、我ガ國ノヤウナ所ニ於キマシテハ、詰リ地方ニ於キマシテ銀行ガ投資ノ融通ノ擔保トシテ取ルベキモノガ多クハ不動產デアルト云々タユニア國情ノ所ニ於キマシテハ、寧ロ本法ハ之ヲ恒久法トシテ置イタ方ガ國情ニ適スルノデハナイカト云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、ソレデ政府ト致シマシテモ、大體サウ云フ考ヘデ居ル譯デアリマガ、併シ尙將來一層研究ヲ致シマシテ、之ヲ恒久法ト致シマスカドウカト云フコトニ付テヘ、更ニ一層研究スル意味ニ於キマシテ、取敢デアリマス、ソレデ今日御指摘ノヤウニ、最近ニ於キマシテハ本法ニ依ル利用ト云フモノガ多クアリマセヌコトハ事實デアリマス、併シナガラ此ノ本法ガアリマスル爲ニ、デアリマス、ソレデ今日御指摘ノヤウニ、餘程地方殊ニ農村方面ニ於キマシテハ私ハ人心ヲ安定サシテ居ルト思フノデアリマス、是ガ無クナルト云フコトニ依ツテ生ズル不安ト云フモノノ方ガ、更ニ大キクハナイカト云フ風ニ考ヘマスノデ、矢張リ本法ハ存續セシメル方ガ、サウ云フ意味ニ於テハ宜ノデアリマセウカ、其ノ點ニ關スル御説明ヲ一應承リタイト思ヒマス

ルコトガ少イト云フコトハ、御知承ノヤウニ本法ガ制定サレマシタ當時ニ於テハ農村ノ不況ノ最中デアツタノデアリマスガ、最近ニ於キマシテハ農産物ノ價格ハ比較的宜シイ、或ハ比較的豊作デ、單ニ米バカリデハアリマセヌガ、一體ニ農産物ノ出來工合モ宜シイト云フコトデ、農村方面ノ懷口工合モ宜イノデアリマス、デアリマスカラ、不動產抵當ノ貸付ハ、寧口期限通りニ償還サレルノミナラズ、期限前償還ト云フモノガ非常ニ澤山行ハレテ居リマシテ、其ノ現象ハ日本勸業銀行ノ不動產貸付或ハ預金部ノ貸付等ニ於テ顯著ニ現レテ居ルノデアリマス、サウ云フ時期デアリマスカラシテ、今日ノ觀點、今日只今ノ狀態カラ推シマスレバ、或ハ用無キガ如ク見エマスルケレドモ、農產物其ノ他ノ豐凶ト云フモノハ、必ズシモ是ハ當然ヲ期シ得ナイ場合モアリマスルノデ、矢張リサウ云ツタヤウノ場合ニ於キマシテ、臨機ノ變ニ應ズル所ノ措置、一ツデモサウ云フ途ガ開ケテアル方ガ私ハ宜シイノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシタ次第デアリマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 外ニ御質問
ガゴザイマセヌカ……ゴザイマセンケレバ
次ニ移リマス、第三、臨時資金調整法中改
正法律案
○子爵裏松友光君 此ノ改正法律案ニ於キ
マシテ、政府ニ於テ補償シ得ル限度ヲ十億
圓カラ二十億圓ニ擴張スルノアリマスガ、
二十億圓ト云フ根據ハドウ云フ所ニ在ルノ
デスカ

○政府委員(中村孝次郎君) 賖蓄債券ノ發行限度ハ現在ノ處五億圓ニナッテ居リマスガ、既ニ提出理由ノ説明ノ際ニモ申上ゲマシタルガ如ク、只今賣出中ノモノ迄計算致シマスルト四億二千五百萬圓發行スルコトトナリマシテ、アト餘力僅カニ七千五百萬圓ニナル譯デアリマス、處ガ最近ニ於ケル年間發行額ハ一億五千萬圓乃至一億七千五百萬圓ト云フ程度ニ相成ツテ居リマス、今後ノ情勢ニ鑑ミマシテモ、年間一億五千萬乃至二億圓程度ノ發行ヲ要スルダラウト、斯ウ考ヘラマスルノデ、差當リ五億圓ヲ十億圓ニ増額致シマスレバ、兩年間位ハ差支ナイグラウ、斯ウ思ハレマスノデ、五億圓カラ十億圓ニ擴張シタ次第デアリマス、尙依ツテ兩者一度ニ發行スルコトモアリマスルシ、又貯蓄債券ノ方ガ見込ガアレバ、其ノ券ト貯蓄債券ト取混ゼテ、其ノ時ノ情勢ニ御承知ノ通リ目下貯蓄債券ノ外ニ報國債券モ發行シテ居ル譯デアリマス、此ノ報國債券ト貯蓄債券ト取混ゼテ、其ノ時ノ情勢ニ依ツテ兩者一度ニ發行スルコトモアリマスルシ、又貯蓄債券ノ方ガ見込ガアレバ、其ノ方ヲ餘計發行スルト云フヤウナコトモ考ヘラレマスルノデ、ソレデ報國債券ノ方ノ發行餘力ト、貯蓄債券ノ方ノ發行餘力ト、彼此レ睨ミ合セマシテ、本案ノヤウニ決メタ次第デゴザイマス

マス、報國債券ハ昨年ノ五月以來數回ニワツテ
所發行シテ居ル譯デアリマスガ、大體所
期ノ成績ノ如ク良績ヲ挙ゲテ居リマス、法
案ヲ作ル當時ニ於キマシテハ議會ノ方ニ於
テモ御尋ガアリマシテ、大體一年ニ二億圓
位發行スル見込ダト云フコトヲ申上ゲタヤ
ウデアリマス、預金部ノ運用委員會ノ方ニ
於キマシテハ、貯蓄債券ト報國債券ト合セ
テ三億圓ト云フコトヲ豫定シテ居ッタノデ
アリマスガ、只今迄ノ所デハ報國債券一億
一千五百萬圓發行致シテ居リマス、尤モ此
ノ中ニ二千萬圓ハ目下賣出中デアリマスル
ノデ、是ハドウ云フ結果ヲ示シマスカ、ハッ
キリトハ申上ゲ兼ネマスガ、大體消化サレ
ルダラウト思ヒマス、サウシマスルト、法
案制定當時ニ二億圓ト云フ豫定ヲ立テテ居ッ
タモノガ二億一千五百萬圓發行サレテ居ル
カラシテ、先ヅ豫定以上ノ成績ヲ挙ゲテ居
ル、斯ウ云フコトガ言ヒ得ルダラウト考ヘ
マス、ソレカラ運用委員會ノ決定ノ際ニハ
別ニ報國債券幾ラ、貯蓄債券幾ラト云フ豫
定ヲ立テ譯デアリマセヌガ、兩者併セテ
三億ト言シテ居ッタ、ソレニ比シテ目下貯蓄
債券ヲ一億五千萬圓、報國債券ヲ一億一千
五百萬圓、合計三億六千五百萬圓ニナツテ居
リマスカラ、是亦當時ノ豫想ヨリモ實際ノ
方ガ餘計ニナツテ居ル、斯ウ申上ゲラレルダ
ラウト思ヒマス

行ヲシタ爲ニ貯蓄債券若シクハ少額國債等ノ消化ニ惡影響ヲ及シタヤウナ事實ハナイカト云フ御尋ダト思ヒマスガ、今迄ノ處成ルベクサウ云フ惡影響ヲ來サナイヤウニト云フ心持カラ、少額國債ヲ發行スル時ニハ、報國債券ノ發行ヲ見合セルトカ、貯蓄債券ノ發行ヲスル際ニハ報國債券ノ發行ヲ見合セルトカ、斯ウ云フヤウニシテ彼此相侵スガ如キ狀態ニナラナイコトヲ期待シテ居ツタ譯ニアリマス、處ガ格別其ノ關係バカリデモナク、一般貯蓄心ノ向上ニ依ルコトグラウト思ヒマスケレドモ、格別惡影響モ認ヌラレマセヌデシテ、時ニハ兩者一緒ニ發行シタコトモアリマス、昨年ノ暮ノ如キ貯蓄債券、報國債券、又國債ノ發行モ皆併セテヤッテ居リマス、今回モ御承知ノ通り國債ノ郵便局賣出し、ソレカラ報國債券、貯蓄債券、三者同時ニヤッテ居リマス、是等ノ結果ハドウ云フ風ニナリマスカ、私共ノ見込デハ格別御心配ニナルヤウナ狀勢ニハナラヌダラウ、斯ウ云フ風ニ見込ンデ居ル次第デアリマス

テ行キタイト云フ風ニ
今回日本勸業銀行法、
ノ改正案ヲ提出致シマ
ノ趣旨ハ勸業銀行等ニ
金融ト云フモノガ從來
テハ制限サレテ居ツタ、
モット廣メマシテ、或程
團金融ノ仕事モ擔當サ
山林業、漁業等ノ方面
ニ力強ク勸業銀行ヲシ
方針ノ下ニ改正案ヲ
アリマスガ、是ハ興業
當致シマスル一種ノ補
カ、補完的活動ヲサセ
候ツテ今後ノ事態ニ善
云フ考デ居ル次第ニア
○石渡莊太郎君 新聞
ノ興業銀行ヲ中心トシ
ノヤウナモノヲ起サレ
リマスガ、此ノ證券投
モノハ、矢張リ戰時金
ツトハ思フノデアリマ
目的、狙ヒ所ハドウ云
イマセウカ、一應此ノ
タイト思ヒマズ

考ヘテ居リマス、尙
北海道拓殖銀行法等
シタガ、是等ノ改正
對シマシテモ、財團
ハ現行法ニ於キマシ
度勸業銀行ヲシテ財
セル、尙其ノ他農業
ニ付キマシテハ、更
テ活動セシメルト云
提出シテ居ル次第、
銀行ガ事變金融ヲ擔
完作用ト申シマスル
ル、此ノ兩者兩々相
處シテ行キタイ、斯ウ
リマス

デ拜見シマスト、此
タ何カ證券投資會社
テ居ラレルヤウデア
資會社ノ効キト云フ
融ニ多少ノ關係ヲ持
スルガ、其ノ主タル
フ點ニアルノデゴザ
シテ、何ト申シマス
際御説明ヲ伺ッテ置キ

君) 現在計畫サレテ
官社ハ、是ハ別段政府
セルト云ツタヤウナ意
マス、之ニ付キマシ
シテ、何ト申シマス
リ上ツテ出來上ルト
視役ト申シマスカ、
サウ云ツタヤウナ意

トハ事實ニアリマス、此ノ會社ガ出來マス理由ハ、何ト申シマシテモ、事業金融ヲ滑カニスルト云フコトガ根本デアリマシテ、御承知ノヤウニ國內情勢竝國際情勢ノ色々變化ノアリマス際デアリマスルカラシテ、是ガ相當人心ニ影響ヲ與ヘマシテ、株ノ値段ト云フモノモ時ニハ實情ニ添ハザル價格ヲ現出スルコトガアルノデアリマス、若シ此ノ株ノ價格ト云フモノガ實情ニ添ハザル狀態ニナリ、而モ其ノ價格ガ不當ニ低落スルト云フヤウナコトガアリマスルト、勢ヒ是ガ生產擴充資金ノ供給ト云フモノニ圓滑ヲ缺クコトニナルノデアリマス、申ス迄モナイコトデゴザイマスルガ、我が國ノ事業資金ノ約半バト云フモノハ株式投資ニ依テ行ハレテ居ルノデアリマス、言葉ヲ換へテ申シマスルト、有價證券ノ全體ノ半分ハ株式ニナツテ居ルノデアリマス、今後ニ於キマシテモ生產力擴充其ノ他ノ事業ノ進展ヲ圖リマス上ニ於キマシテハ、株式投資ノ形式ニ依ツテ事業ノ擴張進展ヲ圖ラネバナラヌコトハ多々アル譯デアリマスガ、其ノ株式ノ價格ガ常ニ動搖致シ其ノ前途ニ不安ヲ抱カセルト云フコトニ相成リマスレバ、自然株式投資ノ方式ニ依ル所ノ投資ハ困難ニナリ或ハ其ノ他ノ事業ノ擴充ト云フコトハ、是ハ時局下普通已ムヲ得ザルコトデアリマスガ、若シ株式投資ニ依ル方法ニ依ツテ是等ノ要望ガ満タサレナイト云フ場合ニ於キマシテハ、自然社債或ハ貸付金其ノ他ノ方法ニ依ツテ必要ヲ満タサネバナラスコトニナリマスノデ、是ハ單ニ株式界ト申シマスカ、株式ノミノ問題デハアリマセヌ、金融機關

全體ニ影響ヲ持ツ問題デアリ、又國家ノ生産力擴充計畫ノ全體ニ及ス問題デアリマス、サウ云ツタ見地カラ致シマシテ、興業銀行ニ於キマシテハ夙ニ此ノ株式ノ價格安定ト云フコトニ付キマシテ苦慮致シテ居ツタノデアリマス、然ルニ昨年ノ七月頃デアリマシタカ、一部ノ…是ハ純然タル民間ノ會社デアリマスルガ、資本金二千萬圓ヲ以チマシテ、株式ノ價格ヲ安定セシメル目的ノ會社ヲ設立致シタノデアリマス、サウシテ昨年ノ暮アタリ迄チヨット色々ノ關係カラ致シマシテ、株式價格ノ動搖致シタノ際ニ、其ノ資金ヲ以テ相當活動致シタノデアリマスガ、其ノ活動ノ效果ハ此ニ方面ニ於テハ相當評價セラルベキモノデアルト我々ハ見テ居ツタ譯デアリマス、併シナガラ何分ニモ資本金モ小サクアリマスシ、又其ノ關係シテ居リマスル人達モ財界ノ全部ト云フ譯デハアリマセヌ、今回ハ財界全部ガ此ノ時局ノ重大サヲ認識致シマシテ、サウシテ又株式ノ價格安定ト云フコトガ此ノ時局ニ於テ如何ニ必要デアルカト云フコトヲ更ニ認識致シマシテ、其處デ先づ御承知ノ全國金融協議會ニ於キマシテモ、興業銀行ノ今回ノ計畫ニ付テハ全面的ニ協力スルト云フ決議ヲ致シタノデアリマス、ソレヲ基ニ致シマシテ、興業銀行ニ於テハ目下株式取引所關係、ソレカラ大キナ建株會社關係等ニ於テ我國ノ財界全體ノ協力ニ依ル會社ヲ捨ヘテ、サウシテ將來ニ於ケル株價ノ安定ヲ期シタイ、斯ウ云フ趣旨カラ致シマシテ目下設立ヲ急イデ居ルヤウナ狀態デアリマス

○石渡莊太郎君 御話ハ能ク分リマシタガ、
○政府委員(廣瀬豐作君) 先程御答へ致シマシタヤウニ、政府ガ自ラ定款ヲ捨ヘ計畫ヲ捨ヘテヤル譯デハアリマセヌノデ、其處ノ所ハ餘リハツキリシタ明確ナコトハ申上ガ兼ネルノデアリマスガ、我々が相談ニ當リマシタ際ニ申述ベテ居ル所ニ付テ申上げマスト、此ノ會社ニ付キマシテハ、單ニ株式ノ賣買ト云フコトノミナラズ、國債社債等ニ付テモ定款ノ上ニ於テハ、即チ會社ノ目的トシマシテハ、國債社債ニ付キマシテモ矢張リ同様ニ價格ノ安定ヲ期スルコトヲ目的トスルト云フコトニ致シタ方ガ宜クハナイカト云フコトヲ申上げテ居ルノデアリマスガ、マダ現ニ定款ガ出來上ツタ譯デゴザイマセヌガ、多分サウ云フコトニナルダラウト考ヘテ居ル次第デアリマス

○石渡莊太郎君 貯蓄債券ノ限度ヲ擴張サレタノデアリマスガ、同時ニ報國債券ノ限度モ擴張サレル必要ハナイノデアリマセウカ、今後數年間發行サレテ今日ノ儘デ宜シ
○政府委員(廣瀬豐作君) 報國債券ハ御承認ノヤウニ、五億圓ヲ限度トシテ發行シ得ルコトニ協贊ヲ經タ譯デアリマス、ソレデ先程中村政府委員カラ申上ゲタヤウニ、十五年度ニ於キマシテハ、其ノ内二億千五百萬圓ガ先づ發行サレヨウト云フ譯デアリマス、從ヒマシテ大難把ニ申セバ約三億圓残ツテ居ルト云フ譯デアリマスカラ、ソレデ先づ十六年度一杯ハ其ノ程度デ宜クハナイカ、改正案ヲ御審議願フヤウナコトニナリハシナイカト云フヤウニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○中山太一君 臨時資金調整法ガ設ケラレタノ本來ノ目的ハ、矢張リ國防國家建設ノ爲ニ生產力ノ擴充ニ資スル爲デアルコトハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、其ノ一面民業ハ相當ニ壓迫サレナガラ肝腎ノ目的デアル生產力擴充ニ資スルヤウニ、機能的ニ其ノ資金ガ活用サレテ居ルノデアラウカドウカト云フ點ニ私ハ疑點ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレハ是ダケノ多クノ資金デアリマスカラ、必ズ效果ハアルケレドモ、ソレガ能率的ニ其ノ實績ガ示サレテ居ルカドウカ、形式ダケ……資金ガ餘計要ツタカラ、生產力ガ殖エタト云フコトハアリマセウケレドモ、此ノ資金ノ不足シテ居ル時ニ、特ニ國防國家建設ノ爲必要ダト云フノデ、政府ハ此ノ計畫ヲサレテ居ルガ、形式ダケデナク、實質的ニソレガ生產ヲ舉ゲナケレバナラス、普通ノ時ヨリモヨリ以上ノ成績ヲ舉ゲナラス、實際ニ生產力擴充ノ爲ニ用ヒラレテ居ル時局産業ノ多クハ、資金

ノ浪費ガ多イ、之ヲ私ハ見テ感ジテ居ルノ
デアリマス、其ノ點ヲ當局ハドウ御考ニナ
リマセウカ、一ツ御意見ヲ承リマシテ、私
ハ引續イテ御尋シタイコトガアルノデス
○政府委員(廣瀬豐作君) 臨時資金調整法
ハ、私カラ申上ゲル迄モナク既ニ御承知デ
ゴザイマセウケレドモ、事變以來時局ニ最
モ必要ナ方面ニ資金ヲ流スト云フコトガ根
本ノ考へ方デアリマス、デ其ノ流シ方ニ付
キマシテモ時代ガ變ッテ來マスト、其ノ流シ
込ムベキモノ、重要性ト云フモノガ變化ガ
アリ、其ノ變化ガアリマシタ際ニハ、更ニ
詰リ事業設備ノ階級別ト云フモノヲ變ヘマ
シテ、サウシテ其ノ時々ニ最モ必要ナモノ
ニ最モ多ク資金ガ行クト云フコトヲ考慮ヲ
拂ツテ參ツテ居ルコトハ御了承ノコトダト思
フノデアリマス、ソコデ只今ノ御質問ハ恐
ラクサウ云ツタ考ノ下ニ廻シタンダラウケレ
ドモ、其ノ行キ方ガ、行ツタ結果ガ尙ソコニ
浪費ガ多イデヤナイカ、斯ウ云フ御趣旨ノ
コトデヤナイカト思フノデアリマス、其ノ
點ニ付キマシテハ政府ト致シマシテハ常ニ
出來ルダケノ考慮ヲ拂ヒマシテ、サウ云ツタ
ヤウナコトノナイヤウニ考へテ居ルノデア
リマス、資金調整法ノ關係カラ言ヒマスト、
例ヘバ社債ノ發行デアリマストカ、株式增
資デアリマストカト云フヤウナコトヘ、單
ニ一回デ終リマス場合モアリマスレバ、二
回三回トヤラナケレバナラヌ場合モアルノ
デアリマス、サウ云ツタ際ニ於キマシテ、過
去ノ實績等ヲ詳細ニ調査スルト云フ方法モ
アルノデアリマス、サウ云フ方法ニ依ツテ過
去ノ浪費ガアリヤ否ヤト云フコトヲ調査ス
ルコトハ勿論デアリマス、尙今回ノ會社經理
統制令ニ於キマシテモ監査ニ關スル規定ガ

アリマシテ、是ハ單ニ時局產業ノミヂハアリ
マセヌケレドモ、一般的ニ會社ノ經理ノ狀
態ニ付テハ場合ニ依ツテハ相當實地ノ調查
モ致サウト云フ制度ヲ設ケテアルヤウナコ
トガナイヤウニ政府ト致シマシテハ努力ヲ
致シテ居ル次第デアリマス
○中山太一君 大藏省ノ御當局トシテ八十
分御注意ニナツテ居ルト思ヒマスケレドモ、
實際ニ於テハ餘程相反シテ居ルコトガ多イ
ノデアリマス、滿洲ニ於ケル問題ハ茲ニ例
ト引クコトハ差控ヘマスガ、元來重工業又
ハ其ノ他時局產業ノ多クハ精神的ニ時局ニ
貢獻シナケレバナラヌカラ、之ヲ擴張スル
ト云フノデ、擴張ニ對シテ熱心デアル餘リ
之ヲ平面的ニノミ考ヘテ、立體的ニ總テ檢
討シテ居ラヌ、ソレデ總テノ資金ノ使ヒ方
ガ非科學的ニナツテ居ル爲ニ浪費ガ多イ、ソ
レデ一ツノ例ヲ申上ガマスト、或輸出產業
デ餘程擴張シナケレバナラヌモノデアルカ
ラ、政府當局モ是非是ハ生産ヲ倍加スルヤ
ウニ其ノ會社モ其ノ通リ考ヘテ、手續ヲシ
テ認可ヲ得、愈々ヤルコトニナツテ、重役會
ノ決議迄經マシテ愈々實施スル時ニ工場長
ガ敢然トシテ反對シタ、此ノ儘現在ノ施設
シタ結果、家ヲ建テズニ機械ヲ臺ナリ二十
臺ナリ増スコトガ出來ル、ソコデ家ヲ建
機械ト機械トノ位置、距離ヲ合理的ニ檢討
シテ其ノ目的ヲ達成セラレルモノガアル、ソ
アル、家ヲ建テズ、唯機械ダケヲ殖ヤシテ、
其ノ機械ノ位置ヲ改良スルト云フコトニ依ツ
テ其ノ目的ヲ達成セラレルモノガアル、ソ
レカラモウ一つハ、此ノ機械ノ据エ方ガ、
機械ト機械トノ位置、距離ヲ合理的ニ檢討
シタ結果、家ヲ建テズニ機械ヲ臺ナリ二十
臺ナリ増スコトガ出來ル、ソコデ家ヲ建
テル資金ヲ活用サセテ行クコトガ出來、其
ノ資金ガ活キテ行ク、ソレデ出來得ルダケ
ノ目的ヲ廣ク多ク達シテ戴クコトガ出来
ルト思フ、ソレガマダ十分ニ心ヲ用ヒテ
ナイ、餘程是ハ善カ惡カ、眞面目カ不眞面
目カ、必要カ不必要カハ、檢討サレルコトハ
○政府委員(廣瀬豐作君) 只今中山サンノ
御意見誠ニ御尤ナ點ガゴザイマスルシ、又
政府トシマシテモ從來サウ云ツタヤウナ事
例ニ付キマシテ痛感ヲ致シタコトモゴザイ
マス、ソレデ之ニ對シマシテハ從來共サウ
デアリマスガ、各省間ニ於テ常ニ密接ナ連
絡ヲ取りマシテ、出來ルダケ御指摘ノ通り
今日勞力モ物モ窮屈ナ時代デアリマスノデ、
ドウシテモサウ云ツタ物ノ浪費ニナラヌヤ
ウニ、又資金ノ浪費ニナラヌヤウニ、出來
ルダケ能率的ナ方法ニ依ツテ生産ノ擴充ヲ
行ヒタイト云フ意圖ノ下ニ、年々關係官廳
間ノ連絡ヲ密接ニシテ居ル次第デアリマス、

不休デ研究シタ結果、是ハ品物ヲ言フト障
リガアルカモ分リマセヌガ、或化學工業デ
アリマスカラ、「チエーブ」カ何カデ、ソレ
ガドウ云フ工合デ一本出ルノデアルカ、機
械ヲ分解シテ研究シタ結果、チョット外部カ
ラ一本ガ軟クナルヤウニ適當ノ量ヲ溫メテ、
ソレデ一本出來タ、之ヲ復中ニ「ラヂエー
ター」ヲ入レテ、ソレガ全部溫マルヤウニ
シテ、五本「チエーブ」ガ出ルヤウニシテ、
其ノ機械ヲ全部變ヘナイデ、其處ニ在ル何
分ノ一變ヘタグケデ目的ノ倍ノ生産ガ出來
ル、ソレヲ家ヲ建テズ、職工ヲ殖ヤサナイ、
又機械ヲ殖ヤサナクテモ、此ノ足ラナイ物
資ノ時ニ資材ヲ濫費セズ、ソレカラ建築ノ
資本モ濫費セズニヤツタ例ガアル、是ハ實
ハ私共ノ如キ此ノ非常時ニ產業經營ヲスル
者ノ範トシナケレバナラヌ點ガアリマス、
ソレデ重工業ニ於テモソレガ澤山アルノデ
ハ貴フコトガ出來ルト思ヒマスガ、其ノ點
ニ付テ遺憾ノ點ガ各方面ノ工場ヲ見マシテ
アリマス、當局モ無關心デアリマス、漸ク
昨年カラ陸軍省ニ於テ積極的ニ乘出サレタ
ケレドモ、完全ニ行ツテ居ナイ、大藏省モ商
工省モ亦無關心ノヤウニ思ハレマスカラ、
甚ダ言葉ハ適當、ナインケレドモ、ドウモ資
金ヲ形式的ニバカリ使ツテ、其ノ活用ニ付
テ眞ニ機能的ニヤツテ居ラスト思ヒマスガ、
アリマス、當局モ亦無關心ノヤウニ思ハレマスカラ、
之ニ對シテノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス
○政府委員(廣瀬豐作君) 只今中山サンノ
御意見誠ニ御尤ナ點ガゴザイマスルシ、又
政府トシマシテモ從來サウ云ツタヤウナ事
例ニ付キマシテ痛感ヲ致シタコトモゴザイ
マス、ソレデ之ニ對シマシテハ從來共サウ
デアリマスガ、各省間ニ於テ常ニ密接ナ連
絡ヲ取りマシテ、出來ルダケ御指摘ノ通り
今日勞力モ物モ窮屈ナ時代デアリマスノデ、
ドウシテモサウ云ツタ物ノ浪費ニナラヌヤ
ウニ、又資金ノ浪費ニナラヌヤウニ、出來
ルダケ能率的ナ方法ニ依ツテ生産ノ擴充ヲ
行ヒタイト云フ意圖ノ下ニ、年々關係官廳
間ノ連絡ヲ密接ニシテ居ル次第デアリマス、

融計畫、具體的ニ申セバ昨年來特ニ強調致シテ居リマス資金統制計畫ガ問題トナル譯デアリマス、尙最後ニ既往ニ於キマスル所ノ兌換券發行ノ趨勢ト云フモノモ、一應ノ考慮ヲ拂フ必要ガアラウト思フノデアリマス、又ソレハ從來ノ全體ノ事業活動、物價ニ國ノ財政等ト如何ナル關聯ヲ持ツテ居テアリマス、之ヲ要シマスルノニ、大藏大臣トシマシテハ只今申述べマシタヤウニ、ノ必要トスル通貨ノ圓滑ナル供給ヲ確保スルコトヲ目標ト致シマシテ、尙更ニ我が國内外諸般ノ經濟金融情勢ニ照應シマシテ、且又政府ノ各般ノ經濟金融政策ト睨ミ合セマシテ、事柄ノ重大性ニ顧ミマシテ、十分ナル慎重ノ考慮ヲ拂ツテ、兌換銀行券ノ發行限度ヲ決定スル方針デアリマス、其ノ場合當事者タル日本銀行及民間ノ意見モ十分參酌シテ誤リナキヲ期シタイト思ッテ居ル次第デアリマス

○子爵裏松友光君 只今ノ御説明デ能ク了承致シマシタ、就キマシテハ更ニ御伺ヒ致シタイノデスガ、兌換券ノ發行高ガ最近非常ニ激増シテ參リマシタ、其ノ急激ニ増加シタ原因ハドウ云フ所ニゴザイマセウカ、

○政府委員(廣瀬豊作君) 最近ニ於キマス

兌換券ノ發行高ノ増加ニ付キマシテハ、是ハ色々經濟活動ガ廣範圍ニナツテ參ッタ云

フコトモーツノ原因デアルト思フノデアリマスガ、殊ニ昨年アタリヨリ御承知ノヤウニ物ノ配給制度ノ上ニ於テ相當變革ガ行ハレマシテ、之ガ爲ニ國民全體トシマシテ現金取引ヲシナケレバナラス分量ガ相當ニ殖

度ヲ決定サレテ、ソレヲ公示サレルノハ年一回サレルノデヤナカッタカト思ヒマスガ、其ノ時期等ハ何時頃ノノデスカ

○政府委員(廣瀬豊作君) 大體只今ノ所デハ年度ノ初ニ此ノ當該年度ノ兌換券ノ最高發行限度ト云フモノヲ大藏大臣ガ決定致シマシテ、其ノ際ニ公告ヲ致シタイト思テ居リマス、從ヒマシテ其ノ時期ハ年度ノ初ヲ原則トシテ一回ト云フ考デ居リマス

○子爵裏松友光君 今回此ノ法案ノ第三條ニ於キマシテ兌換銀行券條例ニ規定スルモノノ以外ニ、大藏大臣ニ於キマシテ兌換銀行券ノ種類ヲ定メルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマスガ、ドウ云フヤウナ種類ヲ置カウト御思ヒニナルノデスカ、從來ハ一圓券ヨリ始マッテ二百圓ニ終ル七種類ニナツテ居リマスガ、ソレ以外ニドウ云フ種類ヲ大藏大臣ニ於テ定メヨウト云フ御考ナンデスカ

○政府委員(廣瀬豊作君) 只今ノ所デハ現

在發行サレテ居リマスル種類以外ニ新シイモノヲ此ノ際特ニ制定シタイト云フ考ハ持ツテ居リマス、併シナガラ今後ノ事態ニ即シタ原因ハドウ云フ所ニゴザイマセウカ、

其ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○政府委員(廣瀬豊作君) 最近ニ於キマス

ハ色々經濟活動ガ廣範圍ニナツテ參ッタ云

フコトモーツノ原因デアルト思フノデアリマスガ、殊ニ昨年アタリヨリ御承知ノヤウニ物ノ配給制度ノ上ニ於テ相當變革ガ行ハレマシテ、之ガ爲ニ國民全體トシマシテ現

金取引ヲシナケレバナラス分量ガ相當ニ殖

エタヤウニ思フノデアリマス、サウ云ツタヤウナ關係ガ最近ニ於キマスル兌換券ノ發行ノ主ナル原因デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵裏松友光君 大藏大臣ガ最高發行限

度ヲ決定サレテ、ソレヲ公示サレルノハ年

一回サレルノデヤナカッタカト思ヒマスガ

○政府委員(廣瀬豊作君) 大體只今ノ所デハ年度ノ初ニ此ノ當該年度ノ兌換券ノ最高發行限度ト云フモノヲ大藏大臣ガ決定致シマシテ、其ノ際ニ公告ヲ致シタイト思テ居リマス、從ヒマシテ其ノ時期ハ年度ノ初ヲ原則トシテ一回ト云フ考デ居リマス

○子爵裏松友光君 今回此ノ法案ノ第三條ニ於キマシテ兌換銀行券條例ニ規定スルモノノ以外ニ、大藏大臣ニ於キマシテ兌換銀行券ノ種類ヲ定メルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマスガ、ドウ云フヤウナ種類ヲ置カウト御思ヒニナルノデスカ、從來ハ一圓券ヨリ始マッテ二百圓ニ終ル七種類ニナツテ居リマスガ、ソレ以外ニドウ云フ種類ヲ大藏大臣ニ於テ定メヨウト云フ御考ナンデスカ

○政府委員(廣瀬豊作君) 只今石渡委員ノ

御質問ハ相當御尤ノ點ガアルノデアリマシ

テ、最近ノ狀態ニ於キマシテハ、我ガ國ノ

通貨制度ト云フモノハ殆ド管理通貨ト申シ

ト云フ名稱ヲ附スルト云フコトハ實體ニ副ハ

テ宜イカト思フノデアリマス、從ヒマシテ

今日斯ノ如キ時代ニ於テ、尙且兌換銀行券

ト云フ名稱ヲ附スルト云フコトハ實體ニ副ハ

テ宜イカト思フノデアリマス、從ヒマシテ

今日斯ノ如キ時代ニ於テ、尙且兌換銀行券</

○政府委員(廣瀬豊作君) 只今石渡委員ノ御質問ノ點ハ此ノ政府ノ歳入豫算ニ於テ、制限外發行アリト云フ前提デ歳入豫算ヲ組ンダカドウカト云フ御質問デアリマスルヲラバ、此ノ十六年度ノ歳入豫算ニ於キマシテハ、一月カラ三月迄ノ間ノ制限外發行稅ノ收入ハ見積ツテ居リマスガ、四月以後ニ於キマシテハ、制限外發行ニ付キマシテハ、一應ナキモノト云フ計算デ豫算ヲ組ンデ居ル次第デアリマス

○石渡莊太郎君 サウシマスト、先程カラノ御説明ハ只今ノ大藏次官ノ御答デ、大體相當高イ所ニ大藏大臣ノ兌換銀行券ノ制限ヲ認メラレル、斯ウ云フヤウニ了承致スノデアリマスガ、是ハ一面カラ見マスト、公債ノ消化ノ最モ關係ノアリマスノハ、公債ノ消化ガ順調ニ消化サレルカ否ヤト云フ點ニ、公債ガ賣レ残レバ直グニ兌換券ノ膨脹ト云フモノガ其處ニ現レテ來ルト思フノデアリマスガ、低イ所ニ決メテ、サウシテ或程度、制限外課稅ノ方ヲ認メルカ、或ハ高イ所ニ決メテ置イテ、サウシテ一應様子ヲ見テ置クカ、斯ウ云フニツノコトガ考ヘラレルノデアリマスガ、先ヅ大體ニ於テサウ云フヤウナ發行稅ヲ納メナイ程度ニ御決メニナルト、斯ウ了承シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(廣瀬豊作君) 國債ノ消化ヲ政府ニ於テ極力努メルト云フコトハ申ス迄モナイコトデアリマスガ、併シナガラ御承知トカ、季節的ニ政府ノ資金、其ノ他資金ノ移動ガ行ハレマスコトト、ゾレカラ國債ノ消化ガ行ハレマス時ノ間ニハ多少ノズレガアルト思ヒマス、資金ノ撒布ガ行ハレマシ

○右渡辺太郎君　言葉ヲ換へテ、裏カラ申セバ結局來年度ノ豫算ノ收入ノ中ニハ、四月以降ノ制限外發行稅ノ收入ヲ見テ居ラレナイト云フコトデアリマスカラ、結局四月以降ニ於テハ制限外ノ發行ト云フモノハナイ、一定ノ期間ハアルカモ知レマセヌガ、此ノ發行稅ヲ納メルヤウナ期間ニ引續イテ制限外發行ヲ行ハナイト云フ見込ノ下ニ、此ノ兌換銀行券ノ發行額ノ最高ヲ決メル、斯ウ承知致シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(廣瀬豊作君)　大體ノ考へ方ト致シマシテハ、從來ノ例年ノ統計ニ依リマスルト、一年ノ中デ十二月ト云フ月ガ一番兌換券ノ發行ガ多イノデアリマス、ソレデスルト、一月カラ十一月迄ノ間ノ實績ト云フモノハ、其ノ間ニハ六月、七月ト云フ節季モアリマスルト、先づ十二月ハ別トシマシテ、餘スケレドモ、兎モ角モ十一月迄ノ平均發行高的ノ見方ヲ致シマシテ、其ノ金額ヲ押ヘマスルト、先づ十二月ハ別トシマシテ、餘

テ少顯著ナ例トモ謂ヘルカト思ヒマスガ、是時期的ニ、時間的ニ此ノ間ニ間差ガアルト思ヒマス、從ヒマシテ假リニ國債消化八年度ヲ通ジテ相當優秀ナル成績ヲ以て行ハレタ致シマシテモ、或時期ヲ押ヘマスルト、制限外發行ヲ要スル、即チ兌換券ガ一時ニ膨脹スルト云フ時期ハ已ムヲ得ナイ、避ケ得ナイ所デアルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 今永年勤續
議員ノ表彰ガアルサウデスカラ、本議場ニ
参りタイト思ヒマス、暫時休憩ヲ致シマス
午後二時三分休憩

午後二時十六分開會

○委員長(男爵深尾隆太郎君) ソレデハ是
カラ引續イテ開會致シマス、石渡君ハモウ
御濟ミダツダデスカ

○石渡莊太郎君 ハイ、濟ミマシタ

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 此ノ兌換銀行券
行券條例ノ臨時特例ニ關スル法律案ニ對シ
テ御質疑ゴザイマセヌカ

○中山太一君 此ノ日本銀行ノ兌換銀行券
條例ノドノ簡條デアリマスカ、ドノ項目デ
アリマスカ、ソレニ抵觸スル爲ニ在支氾濫
圓貨ノ價值維持ノ上ニ、適策ヲ講ズルコト
ニ支障ヲ來スヤウニ承ッテ居リマスガ、ソレ
ハ只今軍票ナリ、聯銀券等ニ依ッテ、直接日
本銀行ノ兌換券ハ流通シナイ形デアリマス、
是カラチヨット速記ヲ止メ戴キタイ

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 速記ヲ止メ
テ

午後二時十八分速記中止

午後二時五十一分速記開始

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 速記ヲ始メ
テ……ソレデハ此ノ法律案ニ對シテ御質疑
ニ活用スル餘地ヲ残シテ置キタイト云フ意
○男爵高崎弓彦君 私ハ第三條ニ付テ御伺
ヒ設シタインデアリマスガ、先程第三條ハ
直接急ニ迫ツテ活用スルモノデナクテ、將來
ハゴザイマセヌカ

○政府委員(廣瀬豊作君) 將來ニ於テ兌換銀行券ノ需要ガモット多クナルト云ッタヤウナ時代ニ於キマシテハ、銀行券ノ印刷能力トノ關係ガアリマスシ、ソレトモ睨ミ合セテ、場合ニ依ツテハイムヲ得ズ倍額ノモノヲ出スト云ッタ風ナ必要ナコトガ起リハセヌカト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、又現在ノ小額紙幣、御承知ノ五拾錢札トカ云フヤウナモノヲ相當出シテハ居ルノデアリマスルガ、是モ矢張リ印刷能力トノ關係上ア、云ッタ補助紙幣ニ付キマシテモ、今後兌換券ノ需要ト印刷能力トノ調整ノ關係カラ致シマシテ、金額ノ違ツタモノヲ或ハ出ス必要ガ起リハセヌカト云フコトヲ今日豫想シテ居ルヤウナ次第アリマス

○子爵裏松友光君 モウ一點御伺ヒシタインノヘ、第四條ノ兌換銀行券發行高ヲ官報ニ公告スベシトカ、斯ウゴザイマスガ、從來日本銀行ハ毎週一回ヅ週報ト云フモノヲ出しテ兌換券ノ發行高ヲ發表シテ居ルノデゴザイマスガ、今度ハ第四條ニ依ツテモ、毎週同一回位、ヅツ官報ニ公告スルヤウニナルノデゴザイマセウカ、其ノ點ニ付テ……

○政府委員(廣瀬豊作君) 従來ハ御承知ノヤウニ日本銀行ニ於テ、週報等ニ依ツテ發表致シテ居ルモノガゴザイマスルガ、今後ハ大臣大臣デ官報ニ公告スルノデゴザイマスガ、マダ具體的ニ何回位ト云フコトヲハッキリ肚ヲ決メテハ居リマセヌケレドモ、少クトモ一月ニ一回位ハ發表致シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙茲ニ發行高ヲ官報ニ公考ヘテ居リマス

告スベント云ヒマスノハ、寧ロ「大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ」ト云フ所ガ主デアリマシテ、從來ハ御承知ノヤウニ日本銀行ノ週報ノ如キハ準備ノ内容ヲ細カニ出シテ居ツタノデアリマス、大藏大臣ハ場合ニ依ッテハ、其ノ準備ノ内容ノ發表ノ仕方ニ付テ命令ヲ出スカモ知レマセヌ、第四條ハ主ニ意味ハ其處ニ在ルト云フ風ニ御了解ヲ御願ヒ致シテ置キマス

○石渡莊太郎君 兌換銀行券發行高ハ毎日新聞ニ發表シテ居リマスガ、發表ト申シマスカ、新聞ニ載ツテ居リマスガ、ソレハドウ云フ關係ニナリマスカ、ソレハ止メラレルヤウナ關係ニナッテ居リマスカ

○政府委員(相田岩夫君) 新聞ニ毎日發行高ヲ掲載シテ居リマスガ、其ノ程度ノモノハ差當リ之ヲ止メル必要ガナイト考ヘテ居リマス、唯正貨準備發行ト保證發行トノ區別ヲ撤廢スルニ伴ヒマシテ、只今次官カラモ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、保證物件ノ種類内容ニ付キマシテハ、少シ工夫ヲ凝ラサナケレバナラヌモノト存ジマス

○委員長(黑爵深尾陸太郎君) 他ニ御質疑ハゴザリマセヌカ……ゴザイマセヌケレバ、第五、朝鮮銀行法及臺灣銀行法ノ臨時特例ニ關スル法律案、之ノ御審議ヲ願ヒマス

○予爵裏松友光君 今回日本銀行ニ對スル保證預け金ノ増額ト云フノガ茲ニ保證トシテ加ハシテアルヤウニ思ヒマスガ、從來朝鮮銀行ニドノ位ノ額ガアッタノデアリマスカ、是ハ表ニデモナツテ居リマスカ

○政府委員(相田岩夫君) 只今ノ御尋ハ日本銀行券ガ朝鮮銀行券ノ發行準備ニナッテ居ヅタ額ノ御尋デゴザイマスカ

○予爵裏松友光君 左様デゴザイマス

○政府委員(相田岩夫君) 最近ノ所デ申上ゲマス、十九日現在ニ於キマシテ、朝鮮銀行券ハ、三億三千三百餘萬圓デゴザイマス、臺灣銀行ノ方ハ八千七百餘萬圓ニナッテ居リマス

○有賀光豐君 此ノ改正案モ兌換券ノ臨時特別ニ相關聯シテ御發案ニナリマシテ、最モ適切ナルモノト思フノデアリマス、兌換券ノ臨時特例モ立法トシテハ臨時立法デアル、根本的ニハ更ニ研究ヲ致シテ居ルト云フ先程ノ御説明デアリマス、從來朝鮮銀行券、臺灣銀行券ヲ日本銀行券一本ニ統一スルト云フ議論ガ大分長イ間反復サレテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、兌換紙幣ノ根本方策ニ付テハ今御研究中ト云フ御話デゴザイマシタガ、ソレ等ノ題目モ尙依然トシテ御研究ノ中ニアリマスノカドウカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(廣瀬豊作君) 理論ト致シマシテハ、只今御尋ノ點、即チ朝鮮銀行券、臺灣銀行券ト、日本銀行券ヲ統一スベキヤ否ヤト云フ問題モアリ得ルト思フノデアリマスガ、差當リ政府デ考ヘテ居リマスル所デハ、朝鮮銀行及臺灣銀行券ハ各隣接地、極メテ近イ所ニ於テ流通セラレテ居ル銀行券デアリマシテ、此ノ朝鮮銀行券、臺灣銀行券ハ各々特色ヲ持ッテ相當今日ニ於テハ有能ナル作用ヲ致シテ居ルモノデアリマス、從ヒマシテ日本銀行券ノ問題ヲ研究致シマシテモ、朝鮮銀行券、臺灣銀行券ハ現在ノ狀態ニ致シテ置ク方ガ寧ロ宜クハナイカト

○委員長(黑爵深尾陸太郎君) 御質疑ガア

リマセヌデシタラ次ニ移リマス、朝鮮銀行法中改正法律案竝ニ臺灣銀行法中改正法律案、之ニ付テ御審議ヲ願ヒマス

○石渡莊太郎君 此ノ朝鮮銀行ノ納付金、臺灣銀行ノ納付金ノ問題デアリマスガ、日本銀行ノ納付金ノ問題デアリマス、臺灣銀行ノ納付金ノ問題デアリマス、臺灣銀行ノ納付金ノ問題デアリマス、日本銀行ニ付キマシテハ、其ノ毎期生ジマスル利益ノ行トハ大分率ナドガ變ッテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、是ハ主トシテ沿革上ノ理由ニ基クモノデアリマセウカ、又ハ日本銀行ト朝鮮銀行、臺灣銀行ト其ノ率等ニ於テ異ナル所ハ何カ理窟ノ上カラ來テ居ル所ガアルノデアリマセウカ、其ノ點、一點御伺ヒシタイト思フノデアリマス、ソレカラ今一點ハ、朝鮮銀行ト臺灣銀行ハ全然同ジヤウナ取扱デアリマス、或ハ法制上トシテ左様ナ取扱デアルカト思フノデアリマスガ、御承知ノ如ク臺灣銀行ハ先年政府ヨリ夥シキ恩惠ヲ受ケテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ハ朝鮮銀行トハ全然差ガアルト思フノデアリマスガ、其ノ點ハ是等ノ納付金ノ問題ニ付テ何等考慮ノ中ニ加ヘル必要ト云フモノハナイモノデアリマセウカ、此ノ二點ニ付テ御伺ヒシタイト存ジマス

○政府委員(廣瀬豊作君) 只今石渡委員ノ御指摘ノ通り、今回提案致シマシタ朝鮮銀行及臺灣銀行ノ納付金制度ハ、現行ノ日本銀行納付金ノ制度ト異ツタ所ガアルノデアリマス、是ハ朝鮮銀行、臺灣銀行共ニ日本ドモ、臺灣銀行ハ政府カラ是ダケノ大キナソレモ一ツノ考へ方デアルト思ヒマスケレト云フ御意見ト存ズルノデアリマスルガ、ソレモ一ツノ考へ方デアルト思ヒマスケレテ、ソレト同様ノ援助ヲ得ナカッタ朝鮮銀行ト何等カ異ツタ措置ヲ講ズベキデハナイカシテ、今日ニ至ツタノデアリマスルカラシテ、第二點ノ御尋デアリマスル臺灣銀行ニ付キマシテハ、曩ニ政府ガ多額ノ援助ヲ致シマシテ、今後ニ至ツタノデアリマスルカラシテ、ソレモ一ツノ考へ方デアルト思ヒマスケレト云フ御意見ト存ズルノデアリマスルガ、ソレモ一ツノ考へ方デアルト思ヒマスケレドモ、臺灣銀行ハ政府カラ是ダケノ大キナソレモ、臺灣銀行ノ利益ハ當然多クナルノデアリマス、是ハ朝鮮銀行、臺灣銀行共ニ日本銀行ノ利益ハ、銀行トハ現在業務ノ内容モ違ツテ居リマス、銀行トハ現行業務ノ内容モ違ツテ居リマス、其ノ關係ハ現ハレテ來ル譯テアリマスルカラシテ、サウ云フ意味合ニ於キ程度ニ於テ利益ノ發生スル關係ニ置カレテアリマス、從ヒマシテ其ノ都度納付金ニ

於キマシテモ、其ノ關係ハ現ハレテ來ル譯テアリマスルカラシテ、一方ニ於テハ臺灣銀行ノ基礎ヲ固メマスルト共ニ、其ノ多クナッタ利益ニ對シテ一定ノ比率ヲ國家ニ納

付セセルト云フコトニ依ッテ大體石渡委員ノ仰セニナツタヤウナ目的モ達シ得ルト云フヤウニ考ヘテ居ルヤウナ次第アリマス
○委員長(男爵深尾隆太郎君) ソレヂヤ是デ大藏省關係ノ分ハ一應終リマシタガ、尙サツキ中山委員ハマダ前ノ爲替管理法ニ付テ御質問ガアルトカ云フ御話デアリマシタガ、尙モウ一遍此ノ中ニ付テ御質疑ノアル方ハ此ノ際願ヒマス

○中山太一君 此ノ爲替管理ノコトニ付キマシテ、先程資本ノ無駄ヲ飽ク迄省イテ之ヲ活用出來ルヤウニト云フコトヲ申シマシタガ、是ハ申上ゲタノガ政府ノ干渉ト云フヤウナコト…其ノ資金調整法ノ認可ニ對シテ、色々ソレガ複雜ナ條件ニナツナラバ却テ反対ノ作用ヲ起スト思ヒマスカラ、ソレデナシニ大體能率的ニ關スルモノデ、活用サレルカ活用サレヌカ、ソレカラ又ソレヲ使用スル時ニ申シマシタヤウナ風ニ活キタ使ヒ方ヲスルヤウニト云フ風ニ御考慮ヲ願ヘバ、其ノ設備ノ上ニ、又物資ノ生産ニ活用サレ上ニ、機械ノ増設ノ上ニ、又流動資金ノ廻轉率ノ上ニ始終好影響ヲ及スコト思フ、ソレデ希望致シマスノハ、此ノ際特別ニ認可ヲ受ケル各工場ニハ能率研究科、又ハ能率研究會等ヲ其ノ生産機構内部ニ設ケル、必ズ設ケテ、ソレガ検討シテ、其ノ方面カラモ考ヘタモノナリト云フコトデ、其ノ申告スル者ガ十人レテ戴キタイ、必ズアレバ、他カラ入レル入レナイニ拘ラズ、此ノ研究機關ガアレバ捨テ置イテモ必ズ出來ルコトデアル、幸ニ軍デハ昨年數百人ノ技師ヲ三十日間掛カッ

○中山太一君 輸出補償法 參リマセウト思ヒマスカラ……

○政府委員(廣瀬豐作君) 只今中山サンノ御希望ナリ御意見ノ點ハ、誠ニ有益ナ御意見ト拜承致シマス、今後臨時資金調整法ノ運用ニ當リマシテハ、御意見ノ點ハ十分尊重致シマシテ、善處致シタイト考ヘテ居ルヤウナ次第アリマスレバ、非常ニ結構ダト思ヒマス

○中山太一君 是ハ後ニ残ツテ居る議案ノ方デアレバ其ノ時申シマスガ、輸出貨物ノ損失ノ其他ノコトハマダデスカ

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 輸出補償法 參リマセウト思ヒマスカラ……

○中山太一君 ソレデハ私ノ質問ハ以上ヲ

付講習ヲ東京、大阪ニ於て行ハレテ、ソレガ各工場ニ歸ツテ能率研究會ヲ設ケ、ソレガ色々ノ角度カラ指導シ研究シテ行クト云フ所ハ検討シタト云フコトガ一つノ條件ノヤウニナツテ居リマスルト、進ンデサウ云フ機關ヲ設ケルコトニナル、設ケレバ必ズ實績ガ舉ルト云フコトダケハ間違ガナインノデアリマスカラ、先程筆記ヲ止メテ戴イタ時ニ申シタヤウニ、或輸出工業ガ其ノ無駄ヲ省イテ行クト云フヤウナ風ニ、非常ナ茲ニ大キナ效果ガアルト思ヒマス、私ノ申スノハ取締ト云フヨリモ、指導、啓發、協力ノ意味ニ於て當局ハ御考慮ヲ願ヒタイ、又將來ハツ國家ノ大機關トシテ、科學的經營下ニ能率増進機關各官廳、生產關係ノアル各官署ノ共同ノモノトシテ、大藏省ハ御考慮ヲ願ヒタイ、サウシタナラバ、豫算ガ今ノ豫算デモ其ノ機能ハ何割カ多クノモノガ舉ツテ行クダラウトスウ思ヒマスカラ、此ノ點モ希望シ、御當局ノ御考ヲ聽キ得マス

○政府委員(廣瀬豐作君) 只今中山サンノ御希望ナリ御意見ノ點ハ、誠ニ有益ナ御意見ト拜承致シマス、今後臨時資金調整法ノ運用ニ當リマシテハ、御意見ノ點ハ十分尊重致シマシテ、善處致シタイト考ヘテ居ルヤウナ次第アリマス

○中山太一君 私ハ御答辯デ満足致シマシテ居ルヤウナ次第アリマス、今後ニ於キコトヲ考ヘテ、戰時對策ノミヲ考ヘル、ソレデ結局戰爭ハ平和ノ目的ノ爲ノ戰爭デアッテ、同時ニ矢張リ長期戰爭ニ堪ヘ得ル爲ニハ一般平和產業ニ對シテノ對策モ考ヘナリ、ドンナニ弱體化シテモ宜イト云フ風ニ重點ヲ置カレテ、一方ハドンナニ犠牲ニナケレバナラスト思フ、處ガ戰爭產業ノミニマムサウ云ツタヤウナ方針デヤツテ行キテ居ルヤウナ次第アリマス

○中山太一君 私ハ御答辯デ満足致シマシテ居ルヤウナ次第アリマス、今後ニ於キコトヲ考ヘテ、戰時對策ノミヲ考ヘル、ソレデ結局戰爭ハ平和ノ目的ノ爲ノ戰爭デアッテ、同時ニ矢張リ長期戰爭ニ堪ヘ得ル爲ニハ一般平和產業ニ對シテノ對策モ考ヘナリ、ドンナニ弱體化シテモ宜イト云フ風ニ重點ヲ置カレテ、一方ハドンナニ犠牲ニナケレバナラスト思フ、處ガ戰爭產業ノミニマムサウ云ツタヤウナ方針デヤツテ行キテ居ルヤウナ次第アリマス

○明石元長君 第六條ノ問題デアリマスガ、茲ニ「日本銀行其ノ他政府ノ指定スル者ヲシテ」トアリマスガ、「其ノ他政府ノ指定スル」ト云フノハドウ云フモノヲ豫定シテ居ラレマスカ

○政府委員(原口武夫君) 是ハ主トシテ爲替銀行、外國爲替銀行、之ヲ實ハ豫定シテテ正金銀行モ入リマスルシ、其ノ

○政府委員(原口武夫君) 是ハ主トシテ爲替銀行、外國爲替銀行ガゴザイマス、外國ニ於キマシテモ、例へバ今日「イギリス」ニ於ケル他正金銀行以外デモ今日爲替業務ヲヤツテ

○政府委員(原口武夫君) 是ハ主トシテ爲替銀行、外國爲替銀行ガゴザイマス、外國ニ於キマシテモ、例へバ今日「イギリス」ニ於ケル他正金銀行以外デモ今日爲替業務ヲヤツテ

ル、モノナリヤ、以上方質問ノ要旨デアリマス、今ノ事變ハ御承知ノ通り何時如何ナル變化ヲ來スカ分ラヌノデ、輸出業者ハ非常ニ心配ヲシテ商賣ヲシテ居ルノデアリマス、ドウカ或程度安心シテ商賣ヲスルヤウニ致シタイト存ジマスノデ、此ノ質問ヲ提出シタ次第デゴザイマスガ、御返事ハ速記錄ニ残シテ戴イテ、尙機會ノアル毎ニ輸出業者ニ知ラシメテ安心セシメル方法ヲ採ツテ戴キタイト切ニ望ム次第デアリマス、終リ

ノ九十トスル意味ガハシキリセヌト云フ
コトデゴザイマスガ、是ハ今申シマシタ御
答ト合セテ大體御了解願シテ居ルコト思ヒ
マスガ、要シマスルニ此ノ五條ニ依ル乙種補
償ト、其ノ一條以下ニ現レテ居ル所ノ甲種補
償ト云フモノヲ合體シテシマツタノデアリマ
ス、而モ乙種補償ニ於テ、從來百分ノ七十
ヲ超エザルコトト、特ニ補償限度ヲ押ヘテ
居ル規定ガ排除サレテシマツテ、結局補償ノ
限度ハ第一條ニ於ケル百分ノ九十ト云フモ
ノダケニナツテシマツタンドアリマスカラ、
從ヒマシテ其ノ點ハ明瞭デアラウド存ズル
ノデアリマス、ソレカラ第三ニ、色々ナ場
合ニ付テノ此ノ輸出補償法ノ適用ノ關係ノ
御質問デゴザイマシタ、要シマスルノニ此
ノ輸出補償法ニ依ル所ノ補償ハ銀行ガ此ノ
輸出手形ヲ買取りマシテカラ、最後ニ手形
ノ支拂人ニ依ツテ決済ガサレル迄ノ間ニ起
ル有ラユル事故ニ付テ補償致ス趣旨デゴザ
イマス、唯其ノ場合、戰時保険ガ掛カツテ居
リマシテ保険金ノ支拂ノアル場合ニ付テハ
勿論保険金ガ支拂ハレルノガ當然デアリマ
シテ、其ノ猶足ラザル所ニ付テ此ノ所定ノ
百分ノ九十ノ限度ニ於テ輸出補償ノ適用ガ
アル譯デアリマス、處デ今御列舉ニナリマ
シタ總テノ點ニ付テ申上ゲマスルト、「イ」ノ
場合、是ハ勿論マダ手形ノ決済、要スルニ
期日ニ支拂ハレナクシテ、決済ガ附カナイ
場合ニ起ル損失デアリマスカラ、是ハ勿論
此ノ輸出補償法ニ依ル所ノ補償ノ對象ニナ
ル場合デアリマス、ソレカラ次ノ「ロ」ハ矢張
リ、此ノ場合手形關係ニ付テハ御斷リガゴ
ザイマセヌデシタガ、是ハ恐ラク手形ガ支
拂ハレルカト云フ意味ト存ジマスガ、此ノ
場合ニ付テハ矢張リ適用ガアル譯デアリマ

ス、ソレカラ「ハ」ノ場合ハ、是ハ支拂地ニ於ケル荷受人カラ支拂ガアツタカドウカ不明ノ場合デアリマスガ、諸般ノ状況カラ見テ、要スルニ銀行其ノ他ハ混雜デドウ云フコトニナツカ分ラスト云フ場合デアラウト思ヒマスガ、其ノ場合支拂ハレナカツタト認メラレル場合ニ於テハ補償ガアル譯ナノデアリマス、ソレカラ次ノ「ニ」ノ場合デゴザイマスガ、其ノ場合ハ大藏省ノ方ノ爲替補償ノ關係ニナル場合デアリマシテ、此ノ場合ハ要ノ適用ハナイ譯デアリマス、詰リ荷受主カラ手形ガ支拂ハレタル後ニ色々其處ニ支障ガ起ツテ來タ場合デアリマシテ、此ノ場合ハ要スルニ手形ノ決済ガ濟シテ居リマスカラ、輸出補償ノ方ノ適用ハゴザイマセヌ、ソレカラ次ノ「ホ」ノ場合、是亦矢張リ手形決済前ノ場合デゴザイマシテ適用ガアル譯デアリマス、以下「ヘ」、「ト」、「チ」、「リ」、ソレゾレ矢張リ同様ナ趣旨ニ於テ補償法ノ適用ガゴザイマス、唯先程モ申シマシタヤウナ譯デ、戰時保険ノ保険金支拂ノ事故ガ生ジタ場合ニハ保険金ノ支拂ガアルノガ順序デアリマス、唯保険金支拂ト云フコトガ實際上直チニ出來ナイ、而モ一方手形ノ支拂期ガ到達シテ何トカ處置ヲシナケレバナラヌト云フ場合ニ付キマシテハ、現行法ニモアリマス通り、第三條ノ第二項ト云フモノガ今度改正サレマシテモ残シテ居リマスガ、之ニ由リマシテ一應補償致シマシテ後ニ實際ノ保険ノ關係ガ解決サレルト云フコトニナル譯デアリマス、所デ此ノ色御列舉ニナリマシタ諸點ニ付テ、若シ戰時海上保險ヲ附ジアル時ハ手形仕拂ノ責任ヲ免ゼラレ、補償法ニ依リ全部補償サル、モノナリヤ、即チ爲替手形取組ヲ了シタル

後ハ如何ナル場合ニ於テモ輸出業者ハ免責
サレ政府ニ於テ補償サル、モノナリヤ
ト云フコトデゴザイマスガ、是ハ矢張リ補
償手形トシテ買取りマシテ、自然輸出業者
トシテ政府ニ對シテ補償料ノ支拂ヲスルト
云フコトデ、其處ニ契約ガゴザイマセヌケ
レバ、唯輸出手形ヲ銀行ニ買ツテ貰ツタ荷爲
替ニハチヤント戰時保險ガ附シテアル、ソ
レダケハ勿論補償ガサレナイコトハ現在ノ
手續上モ左様ニナッテ居ル通リデアリマス、
其ノ點ニ付テハ別段變リハアリマセヌ
○委員外議員(安室彌吉君) 間デアリマス
ガ、チヨント一ツ質問シタインデスガ、此ノ
「リ」ノ場合、積船ガ出帆シテ爲替ガ組マレ
タ、處ガ事變ガ勃發シテ積立港ヘ引返シ、
積立港デ揚ゲレバ一番樂デアリマスガ、其
ノ場合他ノ港ヘ逃げ込ンダリ或ハ長崎カ、
或ハ朝鮮ヘ行クカ分リマセヌガ、サウ云フ
場合ニ矢張リ補償法ガ適用サレマスカト云
フコトガ一ツ、ソレカラ今御話ノ保險ト補償
ハ無論違ヒマスガ、戰時海上保險ガ附イテ
居ナケレバ爲替ヲ銀行ハ組マネイ、併シ戰
時海上保險ヲ勇敢ニ附ケナイデヤツテ行ク
人ガアルカモ知レナイノデアリマス、或ハ
危險ノ無イ所へ入ル、或ハ今「ミニラ」ヘ行
クト云フト危險ガ無イ、或ハ香港ヘ行クト
云フト危險ガ無イ、サウ云フ場合ニハ戰時
保險ヲ附ケナクテモ、戰爭ガ勃發シテ色々
事件ガ起キタ場合ニハ、ソレニ政府ハ補償
サレルカドウカ、此ノ「リ」ノ問題ガ大分面
倒ナンデアリマスガ……

(即圖半幅印) 令ノリノ場合

ハ勿論是デ補償サレルコトニナリマス、ソレ
カラ今ノ戰時海上保険ヲ附サヌ場合ト云フ
ノハ、是ハ現在ニ於キマシテモ認メテ居リ

マセヌ、唯「エフ・オービー」の場合ニ於テ
ハ買受人ノ方デ保険ヲ附ケルト云フコトハ
有り得ルノデアリマスガ、左様ナコトノナ
イ場合ニ於テハ、保険ガ附ケテナイト云フ
モノニ付テハ此ノ補償手形ノ買取ヲ銀行ト
シテハシナイコトニナツテ居リマス、ソレデ
只今ノ御質問ニ對シマシテハ其ノ程度デア
リマスガ、次ニ第四ノ先程御列舉ニナリマシ
タ「イ」カラ「リ」ニ至ル所ノ九項全部ノ場合
ニ付テ、輸出業者ハ先ヅ百分ノ九十割合ニ
依ツテ補償サレルト仰シャイマイシタガ、其ノ
點ニ付テハ、先程モ申シマシタヤウニ、銀
行ト致シマシテハ、先ヅ附屬荷物ガアレバ
其ノ附屬荷物ヲ處分シテ、損失ト云フモノ
ヲ差引キ現シマシテ、其ノ上デ以テ政府ノ
補償ヲ受ケルト云フコトガ順序デアリマス、
併シソレガ實際ニ於テ荷物ノ處分ガ直チニ
出來ナイ、而モ其ノ前ニ補償スル必要ガア
ルト云フ場合ニ於テハ先ヅ補償シマシテ、
輸出補償ノ補償ヲ致シマシテ、ソレカラ荷
物ノ處分ト云フモノガ起ツテ來ル譯デアリ
マス、御質問ハ其ノ場合ニ付テノ御話ダラ
ウト思ヒマスガ、既ニ九十「パーセント」ノ
補償ヲ受ケタル後ト雖モ、若シ此ノ戰時保
險ノ條項ニ該當スルヨコトガ明カニナツタ時
ハ、保険金額ト補償額トノ差額ハ輸出業者
ノ手ニ入ルカ、斯カラ云フ御質問ダト思ヒマ
スガ、ソレハ左様デゴザイマス、銀行ニ對
シマシテハ勿論百分ノ九十ダケ政府ガ補償
シマシテ、アト百分ノ十八銀行カラ輸出業
者ニ對シテ支拂ヲ請求スルコトニナリ得ル
譯デアリマスガ、其ノ關係ハソレ特致シマ
シテ、此ノ補償ト保險トノ關係ニ於キマシ
テハ、保険金ガ丸々入りマシタ場合ニハ、
銀行ハ政府カラ受ケマシタ補償ノ處分……

此ノ荷物ニ付テノ關係ハ計算サレナケレバ
ナリマセスカラ、政府ニ返スコトニナリマ
スカ、其ノ残リニ付キマシテハ、輸出業者
ト銀行トノ間ニ於テ輸出業者ノ負ウテ居ル
所ノ債務ノ一部分ハ差引キマスガ、尙殘額
ガアル場合ハ輸出業者ノ手ニ入ルコトニナ
リマス、次ノ第五ノ場合ハ何レモ此ノ輸出
補償法ニ據ル所ノ補償ニハ該當シナイ、詰
リ手形取引前ノ問題デゴザイマスガ、之ニ
對シマシテハ先般豫算分科會ニ於テモ大體
ノ御答ヲ致シタノデアリマスガ、政府ニ於
キマシテハ、今回昭和十五年度、十六年度
ノ追加豫算ト致シマシテ要求シテ居リマス
ルモノノ中ニ、豫算外國庫負擔ノ契約ト致
シマシテ、昭和十六年度ニ於テ貿易振興施
設費ノ中ニ五千萬圓増額ヲ致スコトニナシテ
居リマス、此ノ豫算外國庫負擔ノ契約ハ、
大體ニ於キマシテ輸出業者が自己資金ヲ以
テ外國カラ受ケタ注文ニ基イテ、商品ノ調
達ヲ致シマシテ、而モ戦亂又ハ輸入制限ナ
ドノ輸出業者自ラノ責メニ歸スベカラザル
事由ニ依ツテ、之ガ輸出不能トナリマシタ
ル時ニハ、其ノ損失ニ關スル補償ヲ致シタ
イト云フ趣旨デゴザイマス、丁度是等ノ場
合ガソレニ該當スルノデアリマスルガ、之
ガ方法ト致シマシテハ、先般商工關係ノ豫
算分科會ニ於キマシテ御説明致シマシタ
リ、輸出業者ノ其ノ輸出不能ニナリマシタ
ル時ニハ、其ノ損失ニ關スルコトヲ認メマシ
テ、買取機關ト致シマシテ、サウシテ後ニ買取
機関ガ適當ニ他ニ其ノ荷物ヲ處分スル場合
ニ、買取ッタ契約金額ノ八割ヲ限度ニシテ、
其ノ程度ノ値段デ、其ノ輸入不能ニナシタ
ル時ニハ、其ノ損失ニ關スルコトヲ認メマシ
テ、買取機關ト致シマシテ、サウシテ後ニ買取
機関ガ適當ニ他ニ其ノ荷物ヲ處分スル場合
ニ、買取ッタ契約金額ノ八割ヲ限度ニシテ、

ソレカラ處分値段ノ間ニ差額ヲ生ジタ場合ニ、政府ガ之ヲ補償スル方法ヲ以テ、之ガ處置ヲ致シタイト考ヘテ居ル譯デゴザイマス、詰リ輸出業者トシマシテハ、海外カラノ注文値段ノ八割迄ハ、假ニ段々ト品物ヲ用意シマシテ、扱テ後ニ故障ガ起ツテ、手形ヲ組ムニモ至ラナカツタ、海外ニ其ノ荷物ヲ賣ルコトガ出来ナカツタ云フ場合ニ、八割迄ノ値段デハ國內ニ於テ責任ヲ以テ買取ッテ吳レル機關ガ出来ル譯デアリマス、其ノ機關ハドウ云フモノヲ利用スルカト申シマスルト、例ヘバ雜貨ニ付キマシテハ日本貿易振興株式會社ヲ用ヒタイト存ジテ居リマス、ソレカラ其ノ他、例ヘバ自轉車ニ付キマシテハ、日本自轉車販賣株式會社ヲ用ヒタイト存ジテ居リマス、其ノ他木箱、「セルロイド」、「スライド・ファースナア」、纖維製品、「ゴム」製品、「ガラス」、陶磁器、人絹織物等ニ付キマシテ、ソレド所謂買取會社ト云フモノガ出来テ居リマス、斯ウ云フ貿易關係ニ於テ、所謂買取會社ト稱スル會社ノ出來テ居リマセヌ各種ノ商品ニ付キマシテハ、他ニ適當ナル何等カノ機關ヲ選定致シマシテ、兎ニモ角ニモ左様ナ買取ヲ致シマスモノハ何トカ其處ニ成立致サセマシテ、總テノ品目ニ付キマシテ今申シマシタヤウナ補償ノ途ヲ開キタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、最後ノ第六ノ場合ハ、是ハ大藏省關係ノ爲替補償ノ場合デアリマスカラ、私カラ御答ヘ致シ兼ネマス

○委員外議員（安宅彌吉）

君 今仰 シヤツ

衆議院デ審議中

ト存ジマスガ、貿易振興施設費、是ハ從來アル費目デゴザイマスガ、之ニ今度新タニ五千萬圓ヲ増額スルコトニナル譯デアリマス

○委員外議員(安宅彌吉君) 増額サレルノハ誠ニ結構デアリマスガ、斯ウ云フ風ノ八割迄トカ、今ノ色々買取販賣會社ガナイモノニ對シテハドウスルトカ云フコトハ、何カ別ノ規定ガ出來ルノデスカ

○政府委員(石黒武重君) 別論致ス積リデ

○委員外議員(安宅彌吉君) 今度ノ施設費ガ決定サレル迄ノ間ハ……

○政府委員(石黒武重君) 準則ヲ作ル積リ

○委員外議員(安宅彌吉君) 項目ガチヤント出來テ居ルノデセウナ、色々ナ場合ノ……

○政府委員(石黒武重君) 大體考ハ決メテ居リマスガ……

○委員外議員(安宅彌吉君) ア、サウデスカ、ソレガ出デカラハ……

○政府委員(石黒武重君) ソレハ、今私ノ申上げタ御答ノ通リニヤル積リデ居リマス

○政府委員(原口武夫君) 貿易局長官カラ申上げタヤウニ、今回ノ輸出補償制度ノ擴充ニ依リマシテ、輸出業者ノ危険ト云ハ不十分デアリマシテ、輸出補償法ガ發動致シマス前ニ、御指摘ニナリマシタヤウニ、

六ノ爲替ノ豫約ノ問題ガ生ジテ參リマス、尙手形ガ落チマシタ後ニ、先程御示シノ第三番目デゴザイマシタカ、「イロハニ」ノ「ニ」ト云フ所デ、手形ガ落チマシタアトデ、銀

行ノ資金ガ凍結サレル、斯様ナ場合ハ、今

輸出補償法ニ入ッテ參リマセヌノデ、斯ウ云

如何ニ輸出業者ノ危険ガ保障サレテ居リマシテモ、爲替銀行ノ危険ト云フモノハ、ソレハ別デゴザイマスノデ、第一ニ銀行ガ手

形ヲナカク進ンデ買取りマセヌ、銀行ハ

手形ヲ買ツタ後ノ危険ト云フモノヲ能ク承

知シテ居リマスノデ、其ノ方ノ措置ガ講ジ

テゴザイマセヌト、最初カラ手形ヲ買ヒ澁

ル、斯様ナ情勢ニナッテ居リマス、其ノ意味

合カラ只今申シマシタヤウニ、外國爲替損失補償金ニ依リマシテ輸出補償法ノ前後ヲ

守ル、斯ウ云フ仕組ニナッテ居リマス

○委員外議員(安宅彌吉君) 外國爲替ナン

ト云フ法令ガ出ルノデスカ

○政府委員(原口武夫君) 是ハ只今衆議院ニ提出シテ居リマス豫算外國庫ノ負擔トナ

ルベキ契約ニ關スル件、外國爲替損失補償金ト云フモノデ、總額ハ五億圓ト云フコトニナッテ居リマス

○委員外議員(安宅彌吉君) 誠ニ有難ウゴ

ザイマシタ

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 先日石渡委員カラ……

○中山太一君 チヨット關聯シテ居ル事項

○委員長(男爵深尾隆太郎君) ソレデハドウゼ

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 先日石渡委員カラ……

○委員長(男爵深尾隆太郎君) ソレデハド

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 私ノ御尋ネシヨウト思ヒマシテコト以上ニ、委員外ノ安宅氏カラ詳シ

○中山太一君 私ノ質問ハ今ノ御答ニ依リ

マシテ、モウ満足致シマシタカラ、是デ打

スルコトニナッテ居リマス

○中山太一君 私ノ御尋ネシヨウト思ヒマシテコト以上ニ、委員外ノ安宅氏カラ詳シ

○中山太一君 私ノ質問ハ今ノ御答ニ依リ

マシテ、モウ満足致シマシタカラ、是デ打

スルコトニナッテ居リマス

○中山太一君 私ノ御尋ネシヨウト思ヒマシテコト以上ニ、委員外ノ安宅氏カラ詳シ

○中山太一君 私ノ質問ハ今ノ御答ニ依リ

御答ヘ戴キマシタ、私ノ質問ハモウ殆ド必要ガナノデ大體ハ取止メマスガ、殊ニ契約不履行ニ基ク不可抗力ノ場合ノ處置デスガ、輸出契約手持品ニ對スル金融ガ、御

アリマスガ、安宅氏ノ質問ノ中ニアリマシ

タガ、輸出契約手持品ニ對スル金融ガ、御

合、ソレヲ清算スル場合ニ、銀行バカリデ

ナイ、自己資金デヤッタ場合、ソレガ契約不履

行ニナル、又ソレヲ轉賣スル時ニ、轉賣不

能ノ爲ニ起ツタ業者ノ損害ニ對スル補償ニ

對シテノ御答モ戴キマシタガ、轉賣が可能

ト云フ意味デアッタヤウニ思ヒマスガ、左様ニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(石黒武重君) 御答ヘ致シマス、

大體左様デゴザイマス、從來銀行カラ融資ヲ受ケテ輸出前ノ準備ヲ致シテ居ル場合ニ付キマシテノ損失補償ハ、御承知ノ通り輸

出資金及ビ輸出品製造資金通損失補償法

ト云フモノガ既ニゴザイマシテ、ソレニ依ツ

テ致シテ居ル譯デアリマス、今後引續キ之

ヲ實行シテ參リタイト存ジマス、今回ハ自

己資金ヲ以テ輸出ノ準備ヲ致ス方々ニ對ス

ル損失ノ補償ノ方法デゴザイマス、此ノヤ

リ方ト致シマシテハ、今申シマシタヤウニ、

差額ト申シマシテモ、要スルニ八掛迄補償

スルノデゴザイマシテ、ソレ以上ハ補償致

サナイヤウナ仕組デゴザイマス、八掛以上

ハ常ニ買取會社ガ買取テ吳レルヤウニ致

シマシテ、尙其ノ上デ買取會社ガソレヲ處

置スル上ニ生ズル差額ハ政府ガ全部ヲ補償

スルコトニナッテ居リマス

○中 山 太一君 私ノ御尋ネシヨウト思ヒマ

シタコト以上ニ、委員外ノ安宅氏カラ詳シ

マシテ、モウ満足致シマシタカラ、是デ打

スルコトニナッテ居リマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 尚此ノ法案ヲ續ケテ之ニ對スル何カ御質疑ハゴザイマセヌカ……ゴザイマセヌケレバ先日ノ石渡委員カラノ國防保安法トノ關係ニ付テ司法省政府委員……

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 尚此ノ法案ヲ續ケテ之ニ對スル何カ御質疑ハゴザイマセヌカ……ゴザイマセヌケレバ先日ノ石渡

十六條ノ二項デアリマシテ、「本章ノ規定ハ外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シタル左ニ掲グル罪ニ關スル事件ニ付亦之ヲ適用ス」ト斯ウ云

シテ、其ノ中ニ外國爲替管理法ト云フ名前ガ入ツテ居ルノデアリマス、外國爲替管理法ハ今回ノ改正ニ於キマシテモ、今朝御尋ネシタヤウナ此ノ條件ニ歸スル程迄犯罪ノ範

域ガ極メテ擴張致サレテ居ルノデアリマスガ、是ガ外國ト通謀シ、又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ト云フモノハドウテ云フモノデア

リカ、ハッキリ分リマセヌガ、是ハ貿易ノコトデアリマスカラ、此處ニ外國ト書イテアリマスカラ、外國人ハ含マナインカモ分リマセヌケレドモ、外國ト謂ッテモ相手ニスルノハ外國デナクテモ外國人デアリマスカラ此ノ外國人ト話合タリ、アチラニ利益ヲ與ヘル、貿易ト云フモノガ御互ヒニ利益ヲ與ヘルモノデアリマスカラ、何時如何ナル場合ニ於テモ先方ニ利益ヲ與ヘナイト云フ商賣ト云フモノハナイダラウト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ外國爲替管理法ガ國防保安法ノ手續ヲ受ケマシテ、勾留期間モ相當長期ニ亘リ、又警察署、憲兵隊ノ留置場ニ留置サレルト云フコトニナッテ居タノデハ、此ノ商賣スル者ガ非常ニ臆病ニナッテシマヒマシテ、此ノ貿易ヲ必要トスル時代ニ於テ正當ナ貿易業者ヲ威カシテ引込メテシマフ心配ガアリハシナイカ、殊ニ

外國ト謂ツテモ満洲國モ、汪精衛ノ政權モ之ニ皆含マレルト云フコトデアリマスト、外國貿易自體ノ消長ニ關係スル所ガ相當甚大デハアルマイカト、斯ウ云フ風ニ感ジガ致シマシテ、實ハ大藏當局ニ御伺ヒシタノデアリマスガ、大藏當局ノ御考ハ、或ハ此ノ利益ト云フモノハ精神的……精神的ト謂ツテハ語弊ガアリマスガ、抽象的ノ利益デアリマスガ、此處ニ書イテアリマス文字ハ別ニサウ云フヤウナコトモ書イテナイヤウデアリマスガ、是ハ一體御當局トシテドウ云フ御考デゴザイマセウカ

第十六條第一項ニシテ是ハ第二章、刑事手續ト題スル規定デアリマス、「本章ノ規定ハ外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シタル左ニ掲グル罪ニ關スル事件ニ付亦之ヲ適用スト」トアリマシテ、其ノ中ニ外國爲替管理法ト云フ法律ガ掲ゲテアリマスノデ、其ノ點ニ關シマスル御尋ト拜承致シマシタ、多少蛇足ニナルカト思ヒマスケレドモ、此ノ第十六條ノ規定ヲ設ケマシタ趣旨ヲ申上ゲルコトガ御了解ヲ戴ク上ニ於テ便宜カト考へマスノデ申上ゲタイト思ヒマス、第十六條ハ一項ト二項トカラ出來上ツテ居リマシテ、第一項ハ國家機密、軍事上ノ機密、軍用資源祕密、其ノ他國家ノ最ハ敵性國家ノ我が國內攬亂ヲ目的トシテ行ヒマス所ノ謀略活動ニ對抗スル手段トシリマス、是ハ第一項デアリマシテ、第二項テ立案シタモノデアリマス、御存ジノ通り現在ノ戰爭ハ戰場ニ於テ、武力戰ニ依ツテ勝

敗ヲ決スルノミナラズ、所謂祕密戰ニ依リ
マシテ其ノ勝敗ヲ左右セムトシテ居ルト云
フコトハ、是ハ申上ゲル迄モナイト思ヒマ
ス、而シテ其ノ祕密戰ノ中ニハ相手國家ノ最
高ノ祕密ヲ探知收集シテ、之ヲ利用スルト云
フコトガ一ツノ手段デアリマス、モウ一ツノ
手段ハ機密ノ探知收集デナクテ、謀略ニ依ツ
テ相手國家ノ國內ヲ攢亂スルト云フ手段デア
リマス、此ノ謀略ヲ私共ハ思想謀略、宣傳謀
略、破壊謀略及ビ經濟謀略ノ大體四種類ニ分
申シマスノハ、例ヘバ共產主義思想トカ、
反戰思想トカ云フモノヲ相手國家ノ内部ニ
植付ケテ、ソレニ依ツテ戰爭反對ノ空氣ヲ釀
成シ、相手國ヲ内部的ニ崩壊セシメムトス
ル謀略デアリマス、宣傳謀略ト云フノハ、
祕密文書、其ノ他公刊ノ文書デモ之ヲ相手
國ノ内部ニ頒布致シマシテ、ソレニ依ツテ
相手國家ノ國內ヲ内部的ニ崩壊セシメムト
スルモノニアリマス、破壊謀略ト申シマス
ノハ、物ニ對スル破壊、即チ放火トカ澁水
トカ云フヤウナコト、建造物ノ損壊ト云フ
ヤウナコト、ソレカラ人ニ對スル場合ハ、相
手國ノ要路ノ大官ヲ暗殺スルト云フヤウナ
行爲、之ヲ引ッ括メマシテ破壊謀略ト云フヤ
ウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、最後ノ經
濟謀略ト云フノハ、相手國ヲシテ國內經濟
ニ破綻セシメヨウト云フ手段デアリマシテ、
此ノ手段ノ一ツトシテ考ヘテ居リマスノガ、
外國爲替管理法違反ノ犯罪ヲ此ノ謀略ニ利
用スルト云フコトデアリマス、ソコデ第十
六條第二項ノ冒頭ヲ見テ戴キマスト、「本章
ノ規定ハ外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與
フル目的ヲ以テ」ト云フコトニ限定シテアリ
マス、普通ノ外國爲替管理法違反事件方總

テ第二章ノ規定ノ適用ヲ受ケルト云フ趣旨
デハゴザイマセス、而シテ第三條ノ規定ヲ
御覽戴キマスト、「業務ニ因リ國家機密ヲ知
得シ又ハ領有シタル者之ヲ外國」「外國」
トアリマシテ其ノ下ニ括弧シテ「外國ノ爲
ニ行動スル者及外國人ヲ含ム以下之ニ同
ジ」ト云フコトニナツテ居リマス、從ツテ
第十六條第二項ノ所謂「外國」ノ中ニハ、
外國ノミナラズ外國ノ爲ニ行動スル者及
ビ外國人個人ヲ含ムノデアリマス、外國
ト申シマスノハ外國政府ヲ指シテ居ルノ
デアリマス、外國ノ爲ニ行動スル者ト云フ
ノハ是ハ俗ニ一口ニ言ヘバ「スペイ」デアリ
マシテ、此ノ中ニハ外國人モアリ、日本人
モアリマス、外國人ト書イテアルノハ外國
人個人即チ自然人及法人ヲ指スノデアリマ
ス、ソコデ先程御尋ノ要點トシテ普通ノ取
引ハ自他共ニ利益スルト云フ場合ガアル、ノ
サウ云フ場合ニ直チニ是ガ適用ニナルカト
云フコトデアリマスガ、是ハ外國爲替管理
法違反ト云フ犯罪ヲ犯シタ場合デアル、ノ
ミナラズ「外國ト通謀シ」ト云フノハ、是ハ
外國ト意思連絡ノ下ニ其ノ犯罪ヲ犯シクト
云フコトデアリマスカラ、是ハ明瞭ト思ヒ
マスガ、「外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ」
ト云フ場合ハ「目的ヲ以テ」ト云フヤウニ限
定シテ書イテアリマス點ニ御注意ヲ願ヒタ
イノデアリマス、私共ハ「目的ヲ以テ」ト言
フ場合ハ刑罰法例上ニ於キマシテハ御存ジ
ト云フ場合ニヨミ適用サレルト斯ウ云フコ
ス、從ツテ外國ニ利益ヲ與ヘルト云フ動機
カラ其ノ外國爲替管理法違反事件ヲ犯シタ
ガアルト云フノハソレハ御尤ト思ヒマスガ、

○石渡莊太郎君 御話重々承知致シマシタ
ガ、外國爲替管理法ノ犯罪デアル、何處迄
モ犯罪デアルトスウ云フ御話デアリマスガ、
勿論ソレハ犯罪デアリマス、犯罪デハアリ
マスガ、御承知ノ如ク財政上ノ罪ト云フモ
ノハ、是ハ普通ノ刑法ト大分變ル所ガアリ
マシテ、實ハ普通ノ道德上ノ常識デハ判斷
サレナイヤウナ場合ニ於テモ此ノ財政違反
ト云フモノハ罰スル、又全然此ノ雇人其ノ
他ノ使用人ノヤツタコト迄モ本人ヲ罰スル
ト、斯ウ云フヤウナコトニ相成シテ居ルノ
デアリマス、ソレデ此ノ外國人ト通謀シ、
通謀シト云フコトハ是ハ刑法上ノ用語デア
リマスガ、普通ノ貿易ノコトヲ考ヘレバ
普通ノ貿易ト云フモノハ常ニ外國人ト話
合シテ居ルノデアリマスカラ、ソレガ通
謀ト云フコトニナルトハ、解釋ハナサラ
ヌト思フノデアリマスガ、讀メバ讀メナイ
コトモナイヤウニ思フ、又外國人ニ利益
ヲ與フルト云フ商賣モアル、其ノ次ノ商賣
ハ自分達ガ利益ヲ得ル、最初ノ商賣ハ向フ
ガ利益ヲ受ケルト云フスウ云フヤウナ場合
モアルト思フノデアリマスガ、マサカ、ア
ナタノ今ノ御説明ヲ聽イテモ、サウ云フ
普通ノ商賣ノ場合ハソレハヤルベキモノデ
ハナイ、サウ云フ「スペイ」行爲ダケヲ相手ニ
シテ居ルノダト云フ者ノヤウニ伺フノデア
リマスガ、實際問題トシテモ問題ハ左様ニ
動クモノデゴザイマセウナ、若シ是ガ普通
ノ商賣ニ此ノ條文ガ適用サレテ、外國爲替
管理法ノ犯罪ト云フモノハ、人ノヤツタ部
分迄背負ヒ込ムヤウナモノ迄六箇月モ拘留

○サレルト云フヤウナ非常ニ重大ナコトガ起ツテ來ルノデハ、是ハ外國貿易上相當障礙ガアルノデハナイカト思ツテ居ルノデアリマスガ、大體ニ於テ普通ノ商賣ニヤッテ居ルコトニハ適用シナイ、其ノ事デ外國人ト話合ツテモ、外國人ニ利益ヲ與ヘル場合デアッテモ普通ノ場合ニハサウ云フコトハ適用シナイノデアルト斯ウ云フ風ニ承知シテ宜シウゴザイマセウカ

○政府委員(大竹武七郎君) 普通ノ善良ナル貿易業者其ノ他ノ商人ニ決シテ脅威ヲ與ヘルヤウナコトハナイ筈ダト思ツテ居リマス、ソレハマア規定ノ上カラ行キマスト、外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ」ト云フコトヲ特ニ限定シテ、而モ其ノ中ヲ見マスト、外國爲替管理法違反ノ罪、斯ウ云フコトニナツテ居リマスノデ、極メテ惡意ノアル場合ヲ狙ツテ立案致シタモノデアリマス、御了承ヲ願ヒマス

○中山太一君 丁度此ノ機會デアリマスカラ、一ツ司法當局ニ御尋ねシタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 宜シウゴザイマス

○中山太一君 國内ニ於テハ祕密トサレテ居リマスコトガ既ニ外國ノ新聞ニ於テハ公然ト祕密デモ何デモナイコトデ、殊ニ支那關係ノ問題……

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 此ノ問題ニナイヤウデスガ……

○中山太一君 今ノ矢張リ色々ノ問題ニ關係アリマスカラ……今ノ爲替關係ニナリマスノデ……サウ云フヤウニ日本デハ祕密トサレテ居ルコトガ、支那關係ノ問題、爲替管

理ノ問題等ニ於テモアルト思ヒマス、ソレハドウ云フヤウニ扱フノデゴザイマセウカモウ彼ハ既ニ知ツテ居ルノダ、話シテモ祕密ノ漏ラシタノデモナイ、彼ニ利益ヲ與ヘタルコトニハナイケレドモ、内地デハ抑ヘラレテ居ル、ソレガ取引カ何カノ時ニ漏レタト云フ場合、矢張リソレハ違反ダト云フコトニナルデセウカ、サウ云フ時ハ何カサウ云フモノガ立證サレル時ニハ……立證ト云フノハ何デアリマスケレドモ、外國ノ新聞雜誌等ニハッキリ出デ居ル、寧ロ彼ノ方ガハッキリ知ツテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、當局ハドウ云フヤウニ御取扱ニナリマスカ

○政府委員(大竹武七郎君) 國防保安法案ノ第一條ヲ御覽ニナリマスト、「本法ニ於テ國家機密トハ國防上外國ニ對シ祕匿スルコトヲ要スル外交、財政、經濟、其ノ他ニ關スル重要ナル國務ニ係ル事項ニシテ左ノ各號ノ一二該當スルモノ」云々ト云フコトニナツテ居リマシテ、其ノ範圍ハ極メテ限定サレテ狹イモノアリマス、只今御話ノヤウニ、外國ニハ既ニ公知ノ事實ニナツテ居ルガ、日本ニダケ祕密ニナツテ居ルト云フヤウナモノハ、此處ニ所謂國家機密ニハ該當シナイノデアリマス、サウ云フモノハ既ニ「外國ニ對シテ祕匿スルコトヲ要スル」云々ト云フコトニ該當シナインデアリマス、但シ是ハ國家機密ト云フコトヲ私遺憾ナガラ、此ノ席デ之ト之云フコトヲ具體的ニ申上ゲル自由ヲ持チマセヌケレドモ、極メテ高度ノ祕密デアリマシテ、ソレガ外國ニ於テ既ニ公知ニナツテ居ルト云フヤウナモノハズゴザイマセウカ

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 「異議ナシ」と呼フ者アリ

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 別ニ御異論云フヤウナコトハ、惑ハナイヤウニ、後日適當ナル時期ニ當局カラ深切ニ一ツ國民ニモウ彼ハ既ニ御指示ト御指導願フト云フコトヲ御考ニナリマスデスカ、矢張リ其ノ時其ノ時ノ問題ニ依ツテ御判断ニナルト云フコトニナルノデアリマスカ

○政府委員(大竹武七郎君) 甚グ申上ゲニクイコトデアリマスガ、ソレハ少シ私共ガ立案シタ趣旨ト達ツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、第十六條第一項ノ方ヲ御覽戴キマスト、是ハ祕密ノ保持ノ問題デアリマシテ、外國爲替トカ、臨時措置法トカ云フモノハ第二項ニ入シテ居リマシテ、是ハ祕密關係デナクテ、謀略關係ニナリマス、ソコデス、祕密トシテ考ヘテ居リマスノハ、國家機密、軍機保護法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フモノハ豫定シテ居ラヌノデアリマス、祕密トシテ考ヘテ居リマスノハ、國家機密、軍機保護法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ

○委員長(男爵深尾隆太郎君) ソレデハ全部可決致シマシタ、ドウモ御苦勞様デシタ、是ニテ散會致シマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 別ニ御異論云フヤウナコトハ、裏松子爵ノ御賛成ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ

○委員長(男爵深尾隆太郎君) ソレデハ全部可決致シマシタ、ドウモ御苦勞様デシタ、是ニテ散會致シマス

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 御詰ヲ致シ聯シテ居ルト思ヒマシタカラ念ノ爲ニ確力メマシタケレドモ、不安ガナイヤウデアリマスカラ私ハ是デ……

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 御詰ヲ致シ聯シテ居ルト思ヒマシタカラ念ノ爲ニ確力メマシタケレドモ、不安ガナイヤウデアリマスカラ私ハ是デ……

○委員長(男爵深尾隆太郎君) 御詰ヲ致シ聯シテ居ルト思ヒマシタカラ念ノ爲ニ確力メマシタケレドモ、不安ガナイヤウデアリマスカラ私ハ是デ……

○委員長(男爵深尾隆太郎君) ソレデハ是ニテ散會致シマス

出席者左ノ如シ
午後四時二十三分散會

委員長	男爵深尾隆太郎君
副委員長	ソレデハ是ニテ散會致シマス
委員	
侯爵細川	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
伯爵大木	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
子爵今城	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
子爵裏松	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
友光君	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
喜福君	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
定政君	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
子爵上原七之助君	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
石渡莊太郎君	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
弓彥君	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
元長君	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
豐次君	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
竹下	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
土方	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ
久徵君	ガゴザイマセスケレバ、裏松子爵ノ御賛成ノ如ク、外國爲替管理法改正法律案、外國爲替管理法上ノ機密、軍用資源ノ機密ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、外國爲替管理法ニ關スル祕密ト云フヤウナモノハ、第十六條デハ豫期致シテ居リマセヌ

兒玉 謙次君
中島德太郎君
中山 長武君
太一君
彌吉君

政府委員
委員外議員

侯爵淺野
安宅

大藏次官 廣瀨 豊作君
大藏省銀行局長 相田 岩夫君
大藏省爲替局長 原口 武夫君
大藏書記官 氏家 武君
同 同 秋元 順朝君
同 同 山際 正道君
同 野田 卯一君
預金部資金局長 中村孝次郎君

昭和十六年二月二十五日印刷

昭和十六年二月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局